

2018年度 事業報告書

2018（平成30）年4月1日

～

2019（平成31）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2018年度事業実施報告】

はじめに

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を行なった。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
- (13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (15) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

公益目的事業などの特徴的なこと

1. 実施している公益目的事業は計画通り行なわれました。道の立ち入り検査でも運営組織、事業活動は適切な運営が行われている旨の文書連絡が3月25日にありました。
2. 人材の確保、力量の育成、待遇面の改善が課題でしたが、人材確保は事業説明会の開催、力量の育成は研修会の開催、待遇面の見直しなど改善に努力をしています。
3. サービス付き高齢者向け住宅は、開設3年目を迎えました。国の平成30年度SWモデル事業フォローアップ調査も終え、報告書を提出しました。

4. 児童分野の事業（デイサービスなど）は、未着手です。
- ① NPO法人ノーリミッツの運営する放課後等デイサービス「ふくろう」（北区北27西13）が2018年7月に開所されたこと。
 - ② さらに、医療法人徹仁会厚別耳鼻咽喉科病院（厚別西5条1丁目16-22）が、2019年6月1日から難聴児に特化した児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援事業を始めることが病院ホームページに掲載されていました。
 - ③ 聾学校の児童数自体が少ない現状の中での事業所の増加は競合する面もあり、事業実施可能性も含めて慎重にならざるを得なくなったことにより、取り組めていません。

運動面の特徴的なこと

1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟の動き

- ① 手話言語法の早期制定及び手話現条例の広がり
 - ※ 今夏の参院選に向けて、各政党の政策提言に盛り込んでもらえるよう「手話言語法」の早期制定にむけて、政策提言に盛り込むこと及び、言語法に対する政党の見解教示をと要望を行いました。
 - ※ 手話言語条例成立自治体は、26道府県/5区/192市/39町/1村の計263自治体となりました。（2019年3月29日現在）
 - ※ うち、北海道は、19市/4町が成立し、情報・コミュニケーションに関する条例と手話言語条例の両方を制定したのは、北海道、札幌市、小樽市です。
 - ※ 手話が使えぬ街づくりへの取り組みを広げていく過程が、手話言語法制定に向かう追い風となるよう札幌でも取り組んでいきます。
- ② 強制不妊手術全国調査
 - ※ 調査の結果、全国で139人（男性38人、女性 101人）が判明しています。2019.02.28現在
 - ※ 旧優生保護法裁判に対する連盟の取り組み
 - (1) 裁判及び被害者支援
 - (2) 旧優生保護法救済法案対策
 - (3) 研究調査
 - (4) 学習会、啓発活動
 - (5) 権利保障のための取り組み（社会資源充実、子育て・高齢・教育サポート）が行われています。私たちが札幌で起こされた強制不妊裁判の傍聴、学習会への参加などの形で連携していきます。

2. 障がい者コミュニケーション促進委員会の開催

13団体で構成され、条例の施策等について意見を聞くことを目的に設置された委員会です。協会から、高嶋正博常務理事兼事務局長を派遣しています。3月28日に1回目の委員会が行われ、これまでの札幌市の取り組みが報告されました。以後の会議は、年に1~2回ほど開催される予定です。

条例を活かすため、手話が通じ合う環境づくりに向けて手話普及関連事業のデータを市政に反映させる取り組み、また、昨年9月の地震の経験から情報センターを災害時の拠点として活用できるよう取り組みが必要です。

13団体（札幌市精神障害者家族連合会、北海道自閉症協会、札幌手話通訳問題研究会、札幌市身体障害者福祉協会、札幌市視覚障害者福祉協会、点訳奉仕むつの会、要約筆記サークルふきのとう、札幌市手をつなぐ育成会、札幌聴覚障害者協会、札幌盲ろう者福祉協会、札幌市中途失聴・難聴者協会、札幌学院大学、日本ALS協会北海道支部）

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2018年4月～2019年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 4,751件+2,581件 = 総件数 7,332件

年度	2017年度 4,971件					2018年度 4,751件						
	区分	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し
計			専通	登通	計			専通	登通			
医療・保健	3,373	3,038	1,206	1,832	3926:09	3,339	2,996	1,148	1,848	3777:16	376	75
(内、介護保険)	366	370	217	153	420:05	455	451	209	242	498:48	29	13
司法	117	101	95	6	118:05	105	101	86	15	108:10	13	7
教育・保育	250	159	56	103	225:00	157	179	70	109	282:45	12	2
労働・雇用	156	152	65	87	175:00	161	172	73	99	219:05	18	14
地域・住宅	58	57	29	28	59:35	46	47	14	33	72:00	4	6
人間関係	31	33	13	20	75:45	26	24	3	21	41:25	3	0
文化・教養	158	195	42	153	464:10	113	145	47	98	375:00	34	12
社会生活	370	414	223	191	648:42	425	446	249	197	679:25	54	26
その他	566	688	677	11	408:40	527	641	636	5	340:40	5	0
(来所者)	575	575	575			535	535	535				
(電話通訳)	529	529	529			534	534	534				
(TV電話)	104	104	104			108	108	108				
(FAX対応他)	227	227	227			204	204	204				
合 計	5,079	4,837	2,406	2,431	6101:06	4,899	4,751	2,326	2,425	5895:46	519	142

※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護

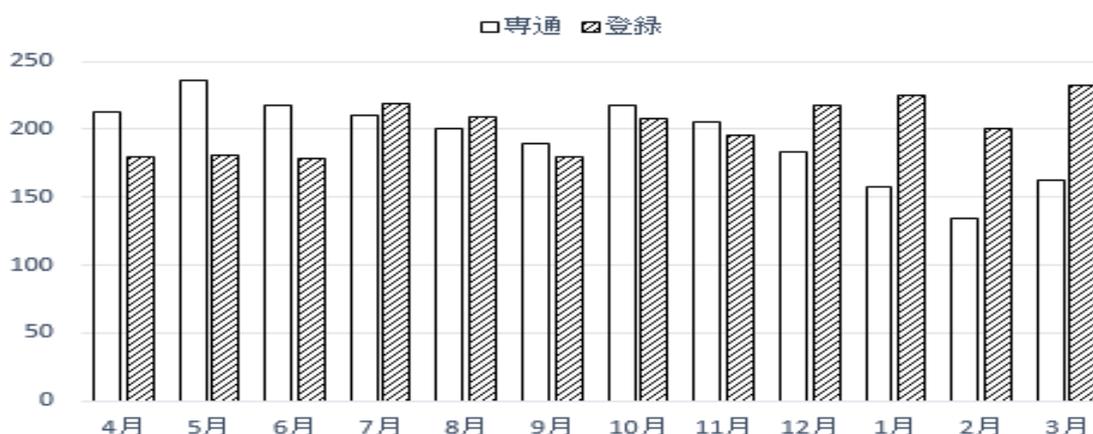
往診・担当者会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2017年度	975	241	601	862	2679
2018年度	877	214	563	927	2581

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2019年3月31日現在）

専従手話通訳者 10名 登録手話通訳者 57名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 36名 統一試験（手話通訳者）48名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- 北海道胆振東部地震発生時は、センター全館が停電のために、通信機器（ファクス・電話・タブレット・パソコン）が破綻してしまい、派遣室内が暗い中、充電器を頼りに携帯電話を活用しながら対応をした。交通手段が絶たれ、通訳活動ができない状況になり、病院の電子カルテが機能せず外来受診が中止と判断するところが多かった。派遣事業としては、通訳現場への派遣が不可能であることの連絡や再調整を行い、6日～11日までの期間中に、約90件の対応をした。特に重篤患者については、病状等を配慮してほしいと入院先に働きかけをして通訳派遣を実施することができたが、今回の災害を契機に、センターの主電源の確保と関係機関との連携、ろう者の情報収集の困難な実態等を踏まえた防災を検討する必要性を考えた。
- 広域派遣については、札幌市の条例（手話言語条例・障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例）の施行に伴い、従来不可とされていた道外での通訳派遣費用については、予算措置されるようになった。道外3ヶ所（4件）あり、各情報提供施設や自治体との対応も事務処理が円滑に実施することができた。道内については各自治体及び北海道ろうあ連盟と連携し対応している。

尚、条例施行後、急激な通訳依頼はなく、ろう者への情報保障について公的機関より派遣事業の市民啓発をしていただきたい。手話通訳保障は、ろう者のためだけではなく、双方向であることを知ってほしい。

- (3) 来所者対応時、電話通訳とTV電話の件数は減少し、ファクスやメールの対応が増えているのは通信機器の利用の変化がうかがえる。現在、ファクスは置かず、メールを利用する人が増えており返信も同様である。但し、難解な内容の問い合わせはメールでは難しく、来所してもらい確認したり通訳派遣する中でトラブル防止の対応をするように注意をしている。
- (4) 電話リレーサービスの支援施策は、全国に広がり、昨年より継続して在札利用者（ろう）も増えている。連絡手段（手話・文字）の選択により即効性がある一方、「通じにくい」「内容が違う」等のトラブルになる時もあり、利用者のマナーや理解力も配慮しつつ、意思疎通面だけではない生活支援を含むことも配慮が必要である。
- (5) 派遣事業コーディネート業務は、内容と対象者（ろう者・聞こえる人）を把握し関係機関との連携が重要である。単なる連絡調整に留まらず、地域ケア担当者会議等にて協議し、専門職と情報を共有しながら対応している。休日や時間外の緊急対応の体制については、課題もあるが、現状としては、随時相談しながら取り組んでいる。
- (6) 高齢ろうあ者や重複障害者の暮らしは厳しく、日常の支援が必要である。消費者トラブルの被害を受けて専門機関への相談件数も増えてきている。筆談を希望する方もいるが、複雑な内容となると通訳依頼となり対応している。ろう者の理解力もあり被害に遭いやすいため、情報を入手して啓発に努めている。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 二次試験（面接試験）

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施した。

期 日：2018年4月7日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2017年度一次試験（手話通訳者全国统一試験）合格者及び手話通訳者全国统一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

（単位：名）

区 分	2017年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	7	0	1
手話通訳士	2	2 ※内1名は統一試験も保持	0
合 計	9	2	1

(2) 一次試験（手話通訳者全国统一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題、採点基準及び具体的実施方法などについて（社福）全国手話研修センターから提供を受け、全国统一試験を実施した。

期 日：2018年12月1日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2016年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2017年度手話通訳者養成講座受講生、2018年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）
または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2019年3月1日（金）

<受験者及び合格者状況> (単位：名)

区分	2017年度			2018年度			
	申込数	受験者数	合格者数	申込数	受験者数	合格者数	合格率
2018年度 養成講座受講者	4	4	2	1	1	0	0%
2017年度 養成講座修了者	16	16	2	12	12	1	8.3%
2016年度以前 養成講座修了者	13	12	2	11	11	0	0%
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0%
合 計	33	32	6	24	24	1	4.1%

(3) 登録手話通訳者状況 (2019年3月31日現在) (単位：名)

項 目	年 度		
	2016	2017	2018
登録手話通訳者数	51	53	57
常勤・非常勤の仕事あり	30	37	39
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	21	13	28
平日の日中活動可能	13	13	10

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通57名中、28名(48%)が稼働不可（3月末現在）であり、2017年度より微増した。その内、半数は年間稼働休止状態に加え、ほとんど稼働が難しい。理由としては、通訳者自身の体調や仕事・家族の都合のため、2019年度も難しいようである。新登通9名も、仕事や体調の理由もあり年度の後半に稼働休止者が増えた。
- (2) 2018年度はほほえみの郷の開所に伴い手稲区の依頼は倍増し、また高齢ろうあ者に係る通訳依頼（手稲・清田・厚別区）が、増えている。交通機関や派遣現場・通訳開始時刻によっては、通訳者確保が困難な実態があり苦慮している。特に冬季間は、登通より移動手段や時間帯については相談しながら対応しているが、通訳者確保は困難である。
- (3) 高齢ろうあ者等、医療場面については、ろう者の協力を得て通訳者の研修を含み専通同行を組み、手話技術の研鑽を試みて工夫をしている。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2018年4月～2019年3月（月1～2回・全16回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者。

講 師：基本的には専通が担当するが、事例研修（6月）・ロールプレイ（7月）は、札幌市ろうあ者相談員、札幌協理事に講師依頼をし実施した。

（内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会◆	2018年 4月2日	58名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	4月16日	34名
3) 事例研修①② …専通の通訳現場の再現学習 ◆	6月22日・25日	40名
4) ロールプレイ①②…ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	7月27日・30日	34名
5) 模擬通訳 …制度外で依頼のあった内容を資源 ◇	8月21日	12名
6) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協同席	8月24日	32名
7) 事例研修③④ …専通・登通の通訳現場の再現学習 ◆	9月27日 28日	36名
8) 健康学習会 …特殊健康診断結果を受けての学習 講師：若葉金三氏（勤医協札幌病院 医師）	10月30日	13名
9) 司法研修「ろう者の犯罪」 ～ある誘拐・監禁・傷害事件から学ぶこと～ 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺颯修氏 ◇	11月17日	37名
10) 司法研修「優生保護法違憲訴訟について考える」◇ 講師：弁護士 小野寺信勝氏、原告 小島喜久夫氏 「司法場面に係る実技研修」 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺颯修氏	11月18日	21名
11) ロールプレイ③④ …専通の通訳現場の再現学習 ◆	11月22日 26日	25名
12) 翻訳・表現技術…「読み取り通訳」 ◆	2019年 1月21日・24日	17名
13) 出張報告 …専通等報告 ◆ ※札幌協理事、ろう相にも案内	2月18日	29名
14) 講演「グローバル社会における日本語と日本手話」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏 ◇	3月9日	44名
15) 「通訳技術・統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月25日	34名

2018年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研 修 内 容	人 数	月 日
1) 聴覚障害者関係施設等新入職員研修会	(京都府) 1名	7月18～20日
2) 2018年度 意思疎通支援担当者研修会	(京都府) 1名	7月25～27日
3) 2018年度手話通訳者全国統一試験説明会	(京都府) 1名	7月28日
4) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2018 (東京都) 1名 聴覚障害児・者の発達スペクトラムと共生社会その人らしさを理解するために		8月11～12日
5) 第44回全道ろうあ者相談員第41回全道専任手話通訳者研修会 レポート提出「災害時の聴覚障害者の支援を考える」		10月17～18日

	(札幌市) 6名	
6) 2018年度 第3回手話通訳士現任研修【基礎研修】・【政見放送】	(札幌市) 4名	11月23～24日
7) 総務省「テレビジョン放送における手話通訳育成事業」研修	(関東会場) 2名	12月4～6日
8) 2018年度手話通訳者・手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会 (北海道ブロック) 全国手話研修センター主催	(東京都) 2名	1月26～27日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 出席状況は、2017年度とほぼ変わらない。従前からの課題として、出欠連絡が滞りがちの登通が固定化している。手話通訳活動はしているが現任研修会の出席がない登通もいるため、手話通訳活動と研修会是一对であることを改めて認識してもらうよう働きかけが必要である。
- (2) 2018年度は、2月『出張報告』の出席者が昨年度の2倍となった。一方、事前に参加の連絡がありながら当日連絡もなく欠席する方が多く、予定していた研修内容の実施に苦慮したことが複数回あった。研修内容は、通訳現場での対応力を、相互に研鑽し合えるように工夫したり、派遣事業の個々の報告書を活用して、事例討議やロールプレイを実施した。他には、通訳現場での困ったことや個々の経験を率直に話し合う場として、年に3回の手話通訳者会議を設けている。
- (3) 3月『通訳技術・統一試験に挑戦しよう！』の年度最後の研修会では、過去の統一試験問題に挑戦する中で、自己の通訳技術の振り返りを重視している。原則全員の出席と位置付けているが、やむを得ず欠席した者には、レポート提出をお願いしている。2018度は2017年度よりも出席者が増えており、来年度以降も引き続き研修会の意義を伝え、通訳者集団での研鑽を継続していきたい。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

認定証授与式終了後オリエンテーションの中で「札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱」の確認、派遣の流れ、報告書の書き方、そして、派遣よりも先に開始する研修について説明を行なった。手話通訳者に対し、医療や教育等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での的確な手話通訳ができるよう資質の向上を図る研修を開催した。

期 間：2018年4月～5月(新登録手話通訳者研修3回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2018年札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2017年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	6名	2名	1名	9名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 札幌市手話通訳者派遣事業及び、関連する事務手続き等の説明。	4月18日
研修会1) 「報告書の書き方…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月23日
研修会2) 「模擬通訳」…対象者にわかる通訳保障のあり方を学習し、実際に通訳をして理解を深めた。	5月11日
研修会3) 「経験交流」…通訳時の悩みを話し合い、高齢ろう者の配慮や先輩通訳者の経験を学ぶ。ろう講師の協力を得て励ましを受ける貴重な時間となった。	5月25日

(3) 手話通訳者状況報告 (2019年3月31日現在) (単位：名)

	2016年度	2017年度	2018年度
専従手話通訳者	10	9	10
登録手話通訳者	51	53	57
(内、当該年度養成講座修了者)	(3)	(0)	(2)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2018年7月～9月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回・2019年2月結果は含まず)

(1) 受診状況

健診対象者	67名	受診者数	58名	受診しない数	9名
-------	-----	------	-----	--------	----

(2) 診断結果

A (異常なし)	2名	C 1 (要受診)	1名
B 1 (要観察)	47名	C 2 (要受診・業務対策)	0名
B 2 (要注意)	8名		

【手話通訳者養成等運営会議(派遣)】

- (1) 検診の結果、登通は現状維持が多く、悪化は少数であった。通訳派遣件数が多く、通訳以外に活動をしている登通については、健康面では良好であった。また、登通活動をしている協会職員の割合が2017年度より2倍となり介護職がほとんどであった。検診結果は改善されている。
- (2) 検診後の健康学習会への出席率は、2018年度は微増であったが、ここ数年間は出席者が少ない。検診が定着したことにより、健康管理への関心が薄れては困るので、2019年度は、学習会の企画も再考していきたい。担当医の後継者も必要性を実感しているが具体的な取り組みはしていない。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ常勤派遣し、内科、外科、整形外科、眼科等総合病院で外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と医師及び看護師とのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期間：2018年4月～2019年3月（年間）

業務時間：月・火・水・木・金 9時～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者4名・代替手話通訳者7名

(1) 実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数（月別）

（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	76	78	94	83	92	80	122	105	108	75	85	88	1086
白石区	19	17	25	21	21	19	27	17	18	17	14	18	233
厚別区	6	16	14	13	19	9	14	17	14	14	13	13	162
東区	22	19	21	21	24	18	31	30	25	18	33	22	284
豊平区	9	9	10	9	9	11	21	8	13	12	6	13	130
北区	6	4	8	7	9	11	14	10	12	3	9	9	102
西区	2	4	6	3	1	3	4	9	8	2	0	5	47
南区	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
中央区	7	4	4	4	4	2	7	3	7	5	2	3	52
手稲区	2	2	2	0	4	3	1	6	4	2	6	1	33
清田区	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
札幌市外	3	3	4	5	1	4	3	3	5	2	2	4	39

②患者及び新患者の状況

患者数	76	78	94	83	92	80	122	105	108	75	85	88	1086
内、新患者数	0	0	0	0	0	0	5	1	2	0	1	1	10

③来院者数状況（年間）

（単位：名）

区分	2017年度			2018年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	776	765	11	766	756	10

④年代及び性別の状況

（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	3	8	53	9	201	186	60	0	520
女性	0	8	18	38	96	212	223	16	0	611
非該当									4	4
合計	0	11	26	91	105	413	409	76	4	1135

⑤来院者の受診科他別状況（年間）（単位：件）

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合 計
内 科	517	眼 科	208	手 術	1	
整形外科	172	外 科	42	検 査	70	
耳鼻科	120	神経科	37	その他	109	
産婦人科	30	労衛科	5	(内、電話通訳)	77	
小児科	11	健 診	140	(内、受付等通訳)	6	
						1462

⑥入院患者数及び受診科別状況（年間）（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	11	1	65	9	1	76

来院患者数・通訳件数共に、2017年度と比べて大きな変動はない。4月～8月は専任手話通訳者の体制が整わず、代替手話通訳者への依頼が多かったが、9月に1名採用されてからは、専任手話通訳者だけでほぼ対応できるようになったため、年間として依頼数は減った。（2017年度 90件 → 2018年度 66件）

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2018年4月～2019年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

(1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2017年度					2018年度						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	105	105	47	58	118:20	71	75	59	16	71:30	3	0
司 法	29	46	46	0	62:40	11	20	17	3	69:30	3	0
内 弁護士	9	9	9	0	9:20	3	3	3	0	5:00	0	0
内 警察署	8	11	11	0	15:00	7	15	12	3	55:30	3	0
内 検察庁	0	0	0	0	0:00	1	2	2	0	9:00	0	0
内 裁判所	12	26	26	0	38:20	0	0	0	0	0:00	0	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	103	214	55	159	610:05	138	292	99	193	811:15	10	0
内 社会生活教 室	26	52	10	42	116:25	28	50	7	43	112:15	2	0
大 学	5	11	5	6	41:40	1	1	0	1	1:00	0	0
組 合	21	36	5	31	94:45	16	33	3	30	92:55	1	0
政 党	12	18	6	12	26:40	7	13	5	8	23:20	0	0
放 送 局	25	32	32	0	63:45	26	35	35	0	71:10	2	0

その他	33	51	32	19	62:05	29	38	23	15	89:45	4	0
合計	333	513	228	285	1,080:00	299	507	241	266	1,230:25	23	0

(2) 派遣分野の状況報告

- ①各種集会関係は、北海道150年記念式典や国体であったため全国規模の大会等、専門的知識が求められる内容であった。資料も膨大となり整理に時間がかかり派遣通訳者への連絡もぎりぎりとなった。10月は依頼が集中し、合理的配慮による増加とは言えないが、2017年10月時期と比較すると1.5倍であった。
- ②放送局関係は、2017年度と同様に、ほほえみの郷（高齢ろうあ者の暮らし）に関する取材、ろう者の雇用に関すること（職場等）・手話学習及び手話ニュース等に派遣をした。収録の方法によっては、同時通訳だけではなく逐次通訳も要求されて対応するため人選が難しかった。
- ③職業関係は、企業研修や会議（新規企業朝礼は毎週1回増）の他、全国規模のろう教育研究大会（2日間）は、北海道ろうあ連盟と連携し、延べ37名の派遣をした。謝礼金については、事務経費も含めて精査して対応をした。
- ④厚生労働省の障害者雇用水増し問題（12月）が発覚した後、国家公務員障害者選考試験が2月に実施（9ヶ所）され、札幌も人事院北海道事務局からの申し入れ、相談をする中で一次と二次試験に、手話通訳士を派遣した。派遣現場では、予算を理由に複数派遣が認められず、ろう者への手話通訳保障については課題を残した。終了後、人事院担当者へは現状を報告し次年度に活かしてほしいと伝えた。

(3) 手話通訳者状況報告 (2019年3月31日現在) (単位：名)

	2016年度	2017年度	2018年度
専従手話通訳者	10	9	10
登録手話通訳者	111	99	108
(内、市登録手話通訳者)	(51)	(53)	(57)
(内、当該年度養成講座修了者)	(3)	(0)	(2)

8. 札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため研修会を開催した。

期 間：2018年4月～2019年3月（年間18回）
 会 場：市視聴覚障がい者情報センター
 対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

(札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載)

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 模擬通訳 ・聞き取り通訳のビデオクリニック	8月21日	10名	2名
2) 司法研修「ろう者の犯罪」 ～ある誘拐・監禁・傷害事件から学ぶこと～	11月17日	32名	5名

講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏			
3) 司法研修「優生保護法違憲訴訟について考える」 講師：弁護士 小野寺信勝氏、原告 小島喜久夫氏 「司法場面に係る実技研修」 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顛修氏	11月18日	16名	5名
4) 講演「グローバル社会における日本語と日本手話」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	3月9日	40名	4名

(自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない)

手話通訳者会議 (自主)	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 通訳場面 医療・教育	6月5日	7名	2名
2) 通訳場面 労働・社会生活	10月12日	4名	3名
3) 通訳場面 講演会・式典	2月4日	2名	3名

(1) 手話通訳者会議

2014年度より出欠連絡不要の自主研修は、少人数ながらも活発な意見交換の場となっている。

出席者は通訳現場で困ったこと等の事例を持ちより、意見交換をする中で問題点を整理し、解決方法を確認している。また、通訳経験のない人も、通訳経験者の意見を聞くことで今後の通訳や活動に生かしてもらいたいと考える。出席者は比較的経験年数が少なく、年間派遣件数が少ない通訳者が多い。

(2) 司法場面における手話通訳者研修

講師に甲南大学法科大学院教授の渡辺顛修氏を依頼しての研修会である。2018年度一日目は、実際に起こった本州の事件（LINEグループを利用したの集団暴力）を題材とした。事件の当事者（22名）被害者・加害者が全てろう者であり居住地が違うこと、複数に係る手話通訳保障（勾留期間の配慮）等の特殊性についてを、弁護活動を通しての報告を学習した。

二日目は例年同様、手話通訳者のみを対象としている。午前中は、優生保護法違憲訴訟の原告小島喜久夫氏（妻も同席）と弁護団事務局長小野寺信勝弁護士を講師としてお招きした。小島氏からは、強制不妊手術を受けた実体験と提訴に至った経過のお話と、小野寺弁護士からは、優生保護法と歴史的な背景について等を講演していただいた。また、現在の裁判所の傍聴時の情報保障（手話通訳者の配置と準備書面の配布）について現状を説明した。午後は、被疑者役をろう者（2名）に担ってもらい“供述調書”を通訳する研修（翻訳技術）を実施した。ろう者からは率直な意見があり、対象者の理解に合わせた翻訳について、学習することができ参考となった。

二日間で延べ7名の司法関係者（弁護士会・検察庁・保護観察所）の出席があり、毎年の積み重ねがうかがえた。初めて出席した方もおり、今後も引き続き司法関係者に対して啓発を促し、ろう者や手話通訳の役割について正しく、理解してもらえるような企画を考えていきたい。

(3) 手話言語に係る手話通訳者研修

講師に豊橋技術科学大学教授の加藤三保子氏を依頼して7回目である。

2018年度は『グローバル社会における日本語と日本手話』と題して、人材の要素として「ことば」「母語」が大切であることと、英語が世界に広がった背景を挙げ、手話も学習方法が多様化し、ろう者以外で手話を使用する人が増えた。日本手話以外は手話ではないという考え方もあるが、聞こえる人の手話（日本語対应手話、手指日本語等）は独立した言語ではなく、日本手話の変種である。手話言語を普及していくためには、ろう者も聞こえる人の使う手話を認め、聞こえる人達も臆せず手話を使うことが必要である。ろう学校の教師も臆せず手話を使うこと、手話を教科とする重要性について講演をいただいた。改めて言語権と日本手話についての認識を深めた学習となった。市外から参加者も多くアンケートも大変好評であった。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 2018年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

カリキュラム以外に例年、特別講座（2回）、突破！統一試験学習会（2回）の実施等、手話通訳者全国統一試験（一次試験）の突破を目指し、より個別の課題克服に向けた指導内容を、講師会議にて確認しながら進めている。

期 間：2017年度クラス2年目 2018年4月4日～11月14日（36回）

2018年度クラス1年目 2018年5月17日～19年3月29日（47回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2016年度	15	26	22	13	59.1%
2017年度	15	23	15	10	66.7%
2018年度	15	24	15	継続中	継続中

実技 73回（内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程31回、通訳Ⅲ課程10回）

(2) 2017年度クラス（2017～2018年度・2年目）

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月4日・4月11日～18日	第10～13講座 聞き取り通訳
5月9日～8月1日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
8月8日～8月22日・8月31日	第28～30講座 ロールプレイ

講師：7名（札幌協講師3名 専通講師4名）

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
9月5日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
9月19日～26日	第2～3講座 事例検討とロールプレイ

10月3日～11月7日	第5～10講座 手話通訳実習1～6
-------------	-------------------

講師：8名（札幌協講師4名 専通講師4名）

※北海道胆振東部地震の為、9月12日の講座は中止。以降繰り下げとし、第4講座は中止とした。

※2017年度より通訳Ⅲテキストを活用し、回数増となっている。

③理論講義 4回

月 日	講義内容	講 師
4月6日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 悌子 専従手話通訳者
4月27日	聴覚障害児の言語発達	氏家 正章 氏 (北海道札幌高等聾学校教諭)
6月6日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷 雄幸 氏 (札幌聴覚障害者協会理事長)
8月29日	手話通訳者の健康管理	若葉 金三 氏 (勤医協札幌病院医師)

※2015年度から理論講義はより受講生に配慮し、札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者への公開はせず、講義内容を収録したDVDの貸し出しを行っている。

④修了時アンケートの結果

アンケートからは、自分の手話表現や読み取りを振り返ることができるようになり、わかりやすい手話表現や日本語を意識するなど成長できた面もあるが、課題を克服するには未だ力不足との感想が出されている。通訳Ⅲの通訳実践で、ゲスト（ろう者）を招き、現場により近い場面を設定したことは、緊張感もあり良かったという声が多かった。

(3) 2018年度クラス (2018～2019年度・1年目)

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
5月17日～6月27日	第1～7講座 基本文法の復習
7月4日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月11日～8月1日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月8日～9月5日	第13～16講座 要約
9月19日～10月17日	第17～21講座 読み取り通訳
10月24日・10月31日	第22・23講座 手話を見て要約
11月7～14日・11月21～12月5日	第24～28講座 聞き取り通訳
12月19日～2018年1月23日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

1月30～2月6日	第1～2講座 話しを聞いて要約
2月13～27日	第3～5講座 手話を見て要約
3月6日・3月13～29日	第6～9講座 読み取り通訳

講師：12名（札幌協講師7名 札幌通研講師2名 専通講師3名）

③理論講義 5回

月 日	講義内容	講 師
-----	------	-----

6月29日	身体障害者福祉概論	松下 由紀夫 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月12日	手話通訳の心構え	※北海道胆振東部地震の影響のため中止
10月10日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月12日	手話通訳の理念と仕事 I	渡辺 聡子 登録手話通訳者
2019年3月8日	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学教授)

④通訳 I 課程アンケート結果

アンケートからは、受講して自分の手話表現が変わったこと、ろう者にわかるような手話表現を意識するようになった等、学習の理解が深まったこと、講座の進め方もわかりやすいと意見があった。シャドーイング教材をあまり活用していない受講生もいたので、自宅学習については講座でも活用を確認しつつ進める必要があった。講座以外でろう者と交流する時間を増やす等の工夫が課題と言える。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2017年度クラス (2017～2018年度・2年目)

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	4月26日	6月28日	地震のため中止
通訳Ⅲ課程	8月10日	12月17日	

(2) 2018年度クラス (2018～2019年度・1年目)

①4月5日 (木) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月12日 (木) 受講者選考試験・面接試験 (一日目・夜間)

4月13日 (金) 受講者選考試験・面接試験 (二日目・昼間)

③7月6日 (金) 講師研修会「指導のポイント (出張報告)」京野理事

④2019年3月18日 (月) 講師研修会「指導のポイント (研修会報告)」

渡辺聡子講師

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	4月24日 8月28日	12月3日	2019年2月14日
通訳Ⅱ課程	2019年1月11日	—	—

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、聞こえる講師は札幌研が推薦する者、または専通が講座を担当し、調整して進めた。

尚、全国手話研修センター主催の「2018年度手話通訳者・手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会」(2019年1月26日～27日)について、講師に参加を呼びかけ、通訳者課程に2名の希望者があり出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

1年生には昨年度に引き続き、受講生の技術向上を目指したシャドーイング練習用DVDを貸し出している。受講生が十分に活用できていない状況があったことを反省し、講座内で視て学習の仕方等を確認する時間を設ける作るなど工夫を加えているが、アンケートでは、シャドーイングの練習自体ができていないことがわかり、教材の準備が受講生の技術向上に直結するとは言えない状況にある。

受講生の手話表現を撮影し、終了後に各自が振り返ることで、自己の技術課題の把握に活用できている。しかし講座の時間内だけでは限界があり、活動や行事への参加等であろう者と交流することの大切さを講座の中で触れていく必要性を確認した。

2年生には特別講座の日程や講師体制を見直し、ろう講師も加えて統一試験合格を更に意識して指導を強化するほか、聞き取り通訳練習用CDと読み取り練習用DVDを貸し出して自宅学習を促すこととした。一日増やして開催した統一試験学習会にも積極的に出席する様子うかがえた。

1・2年生共に日本聴覚障害新聞の記事を読み、内容を要約して手話で発表し講師がアドバイスをするようにしている。要約力と表現力の向上につながることを期待している。

3. 「2018年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために読み取り要約に絞って学習会を開催した。

期 間：2018年8月3日（金）・10月5日（金）・11月4日（日）（3回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：8月3日13名 10月5日32名（内、市外15名）11月4日15名

※これまでのアンケートから、実施回数が増、開催時期を早めて欲しいと希望があり、2017年度より1回増の3回とし、1回目は8月の実施とした。

3日間の内、2日間は札幌市民限定とした。例年、自分の弱点に気づくことができ、手話表現や要約等のアドバイスが参考になると好評である。

III 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

(1) 2018年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を札幌市内10区会場で開催した。

期 間：2018年5月14日（月）～10月29日（月）(21回) ※地震の為1回中止

会 場：各区民センター(豊平区は月寒公民館・西区は市身障センター)

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	中央 A	中央 B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定 員	25	25	35	40	40	30	30	30	30	40	30	355

申込数	60		48	34	38	25	18	16	16	40	27	322
受講者	25	25	35	38	37	24	18	15	17	35	28	297
修了者	21	19	30	30	30	18	17	11	16	28	23	243
	定員		応募者数		受講者数			修了者数		修了率		
2017年度	340		353		301			227		75.4%		
2018年度	355		322		297			243		81.8%		

②開講式 5月14日（月） 各区民センター他

③実技（18回）（毎週月曜日）

5月14, 21日	第1・2講座 表現基礎演習
5月28日・6月4, 11, 18, 25日・7月2, 9日（※6月18, 25日・7月2日のうち1回は理論（出前）講義）	第3～8講座 自己紹介
7月23日	第9講座 自己紹介～まとめ～
7月30日, 8月6, 13, 20, 27日・9月3日・10月1, 15日	第10～17講座 話してみましよう
10月22日※	第18講座 話してみましよう～まとめ～

※例年実施している交流会・感想発表会は、地震によるカリキュラム変更のため中止。

④理論講義（出前・合同）（2回）

㊦6月18日（月）中央区・豊平区・手稲区会場

6月25日（月）北区・厚別区・南区会場

7月 2日（月）東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区・南区会場

講師 京野大樹 氏（札幌協理事）

北区会場

講師 宮内博子 氏（札幌協副理事長）

東区会場

講師 金原浩之 氏（札幌協副理事長）

白石区会場

講師 高嶋正博 氏（札幌協常務理事）

厚別区会場

講師 河村明子 氏（札幌協理事）

豊平区・西区会場

講師 中 和彦 氏（札幌協理事）

清田区会場

講師 福島太郎 氏（札幌協理事）

手稲区会場

講師 若浜ひろ子 氏（札幌協理事）

㊧8月27日（月）道立道民活動センター（かでの2.7）ホール

「聴覚障害の基礎知識」 講師 若浜ひろ子 氏（札幌協理事）

⑤修了式 10月29日（月）道立道民活動センター（かでの2.7）ホール

(2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

①4月9日（月）事業説明会 市社会福祉総合センター 大研修室

②4月9日（月）合同講師補助講師研修会

市社会福祉総合センター 大研修室

「奉仕員養成課程のねらい」 講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

③5月 7日（月）各区講師補助講師打ち合わせ 各区民センター他

④11月 5日（月）各区講師補助講師反省会 各区民センター他

⑤11月19日（月）全体講師助手反省会 市視聴覚障がい者情報センター

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 障害や疾病を抱えている方（難聴・精神障害、脳梗塞による半身マヒ）からの問い合わせ、応募あり。随時、市・協会と相談し、支部にも協力を得られるか相談しながら進めている。
- (2) 社会福祉総合センターの工事に伴い、合同講義、修了式をかでの2.7で行った。また厚別区民センターも工事のため、使用できない期間は厚別南会館と厚別南地区センターを使用した。
- (3) 中央区民センターは例年落選者が多いため、定員を30名から50名に増やし、AとBの2クラスに分けて行った。講師は、Aは支部が担当し、Bは協会推薦者（理事や協会登録通訳者）が持ち回りで担当した。
- (4) 2018年度より助手を廃止し、講師2名（ろう、聞こえる各1名）、補助講師2名（ろう、聞こえる各1名）の体制に変更。カリキュラムは全区統一のものを担当理事が作成。講師・補助講師80名全員から承諾書を提出してもらい、謝礼金はそれぞれの個人口座へ支払いした。
- (5) 北海道胆振東部地震が発生したため、9月10日の講座を急遽中止とし、カリキュラムの変更を行った。中止決定後、電話やメール等で約94.5%の受講生に対し連絡を行い、更に9月10日付けで文書も発行して対応した。

2. 中級手話講習会（基礎）事業

- (1) 2018年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2018年5月17日（木）～11月15日（木）（25回）※地震の為1回中止
会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2016年	50	82	50	45	90%
2017年	50	62	50	42	84%
2018年	50	70	50	43	86%

②受講者の住居区分状況 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	13	12	15	3	1	7	5	4	8	2	70
受講者	8	9	11	3	1	4	4	4	5	1	50
修了者	8	8	9	1	1	3	4	4	4	1	43

③開講式 5月17日（木）

④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
5月17日～9月27日	第19～34講座 基本文法
10月4日～10月11日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
10月25日～11月8日	第37～40講座 総合練習Ⅱ

講師：9名（札幌協推薦講師6名 札幌研推薦講師3名）

⑤理論講座

- ㊦5月17日(木)「ボランティア活動」 講師：三神久子氏
(中級手話講習会担当講師)
- ㊧7月26日(木)「障害者福祉の基礎」 講師：西山洋平氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉職員)
- ㊨10月18日(木)「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：太田利実氏・佐藤尚行氏
(中級手話講習会担当講師)

⑥修了式・講評・反省会 11月15日(木)

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①4月4日(金) 事業説明会
- ②4月9日(月) 合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」
- ③5月10日(木) 講師研修会「指導技術」
- ④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	4月11日(水)	6月6日(水)	7月18日(水)	9月5日(水)
講師反省会	11月29日(木)			

【中級手話講習会講師団】

25名ずつの2グループ制にして2年目となった。ろう講師には育成講座受講生から新しく1名が加わり、聞こえる講師は2017年度に引き続き3名に依頼した。講師は1グループにつき2名とし、経験年数を考慮して配置した。

また、北海道ろうあ連盟主催の「北海道手話奉仕員養成講師育成研修会」(9月1日～2日)には希望者2名、全国手話研修センター主催の「2018年度手話通訳者・手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会(北海道ブロック)」(2019年1月26日～27日)に参加を呼びかけ、奉仕員課程に4名の希望者があり出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議(養成)】

- (1) 新テキスト4年目となり、講師も講座の進め方には慣れて落ち着いている。2017年度より会場を2つに分けての指導となり、講師からは機材や記録の補助等のため、講師2名ずつでは足りず、1グループにつき3名配置の希望が出ており、養成等運営会議にて講師増の提案をした。2018年度からの予算増とはならず、2019年度からは講師増の提案をし検討していく見込みである。
- (2) 講座(第39・40講座)については、ろう者のゲスト(謝礼金有)の予算が認められており、講師の配置や進行の工夫を図りながら引き続き対応をしていくことを確認した。
- (3) アンケートより、例年、講師の手話が読み取れず指示もアドバイスも理解できないという意見がある。受講生は手話学習歴も経験も年齢も幅広く、講師としても指導面の課題がある。2グループ制にした結果、大勢の前で手話表現をすることに抵抗がある点では改善され、少人数の方が受講しやすいという結果となった。
- (4) 9月6日、北海道胆振東部地震発生当日の夜間に講座があったが、停電により交通機関も機能せず、二次災害防止を考慮し、急遽、市と中止を確認した。受講生全員(50名)に電話・FAX等を活用して連絡済。アンケート

項目に加えて意見を集約すると大きな問題もなかったが、緊急時の連絡体制を考えるきっかけとなった。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

2018年度より助手を廃止し、各会場とも講師2名（ろう1名+聞こえる1名）、補助講師2名で担当する体制とした。特に問題なく、各区講師同士で協力し合って取り組むことができた。

2017年度まで40年余り、「講師」という意識よりも、みんなに自分の知っている、使っている手話を教える、広めるという思いで進めてきたが、「札幌市」手話講習会という場では、講師もプロの意識が必要であり、ろう講師と聞こえる講師の立場は対等であるべき。全国統一のテキストを使用するので、手話講師になるために講師育成講座などで学習し、講師として必要な知識、指導方法などを学ぶための取り組みが必要である。

(2) 中級講習会について

2017年度の講師一人が辞退したため、代わりに経験ある講師1人を迎え、他の経験ある講師たちと支え合いながら進めることができた。

(3) 手話通訳者養成講座について

講座の期間が2年間に変わってから4年経ち、講師人数を増やすことにより、担当負担を減らす事ができた。また、担当時に都合がつかない時は講師間で日程調整をした。

(4) 全講座について

年齢層は幅広く、個人の力量が課題となっている。中級講習会、手話通訳養成講座に繋げるよう工夫していく。

講師の高齢化に伴い後継者育成が必要であり、そのための取り組みを行った。

講師としての資質を兼ね備えた人材の確保に向けて、講師育成講座の受講を広く勧め、内容の充実、改善を図り、経験豊かな人材の確保に取り組んでいく。

(5) 専門部会議について

以前から2017年度までは、各区情報コミュニケーション部長が手話講習会を担当していたので、講習会の状況を把握できていたが、今年度は講師を担う人がいない区があるため、会議で各区の状況を伝えられないことがあった。情報コミュニケーション部の役割は何なのかと考えた場合、手話講習会の話だけに集中するのではなく、今後は手話サークル関連や聴覚障害の生活や手話言語条例など幅広く、意見交換し率直に話し合えるように見直した。

また各支部と講師団との連携を強化し、情報を共有しながら講師個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期間：2018年4月～2019年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：45

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月19日	派遣	派遣状況、広域派遣 登通状況について	11名
2	5月17日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	13名
3	6月14日	派遣	派遣状況 広域派遣 苦情対応について	9名
4	7月19日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	13名
5	9月20日	派遣	派遣状況、広域派遣、制度外派遣について	10名
6	10月18日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	13名
7	11月15日	派遣	派遣状況、広域派遣、登通状況について	10名
8	12月20日	養成	各講座の修了・進捗状況、現任研修会、2019年度手話講習会節会議、統一試験学習会について	13名
9	2019年 1月17日	養成	2019年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	13名
10	2月21日	派遣	派遣状況、広域派遣、関係機関との連携について	12名
11	3月14日	養成	2019年度各講座の申込状況、育成講座の進捗状況、現任研修会、統一試験学習会について	13名

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 松下由紀夫係長、西山洋平職員
 札幌協：宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、中和彦理事、渋谷梯子課長、佐藤有香係長
 札サ連：菅原順子会長、三木千枝子副会長
 札幌研：中村雅子事務局長・樋口道雄広報部長

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 松下由紀夫係長、西山洋平職員
 札幌協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、中和彦理事、渋谷梯子課長、金原さとみ係長
 札幌研：中村雅子事務局長・樋口道雄広報部長

V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

(1) はじめての手話教室（昼間）

聴覚障害者に対する理解を深めるとともに手話で初歩的な日常会話ができるようになることを目的とした昼間の手話教室を開催した。

期間：①第35回はじめての手話教室

2018年4月6日（金）～8月31日（金）（20回）

受講人数：受講生15名（うち修了生14名）

講師1名 助手1名 補助講師1名

②第36回はじめての手話教室

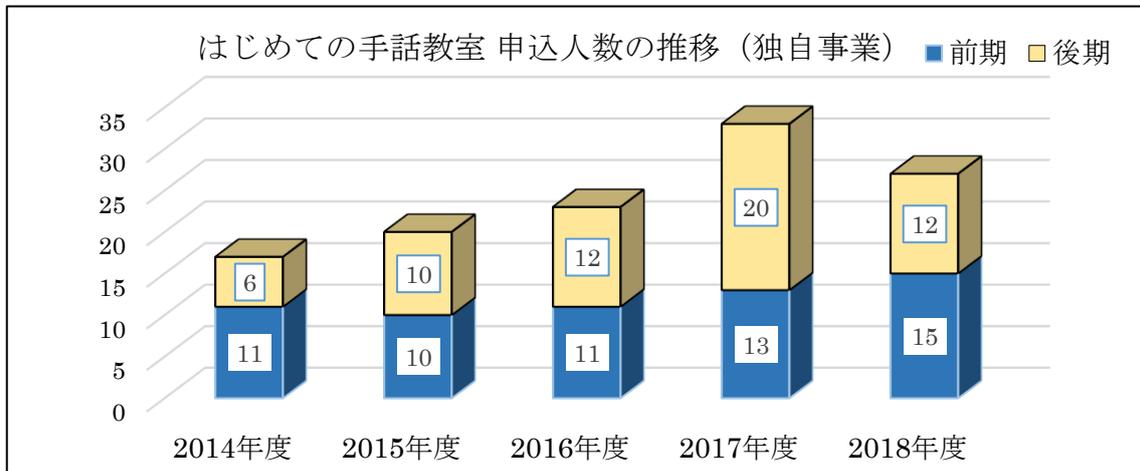
2018年9月14日（金）～2019年2月15日（金）（20回）

受講人数：受講生12名（うち修了生9名）

講師1名 助手1名 補助講師1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者



(2) フォローアップ手話教室（昼間）

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

期間：①第12回フォローアップ手話教室

2018年9月13日（木）～10月11日（木）（5回）

受講生14名（うち修了生11名） 講師1名 助手1名

②第13回フォローアップ手話教室

2019年2月22日（金）～3月22日（金）（5回）

受講生20名（うち修了生13名） 講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

(3) 第12回中級手話教室（基礎編）（昼間）

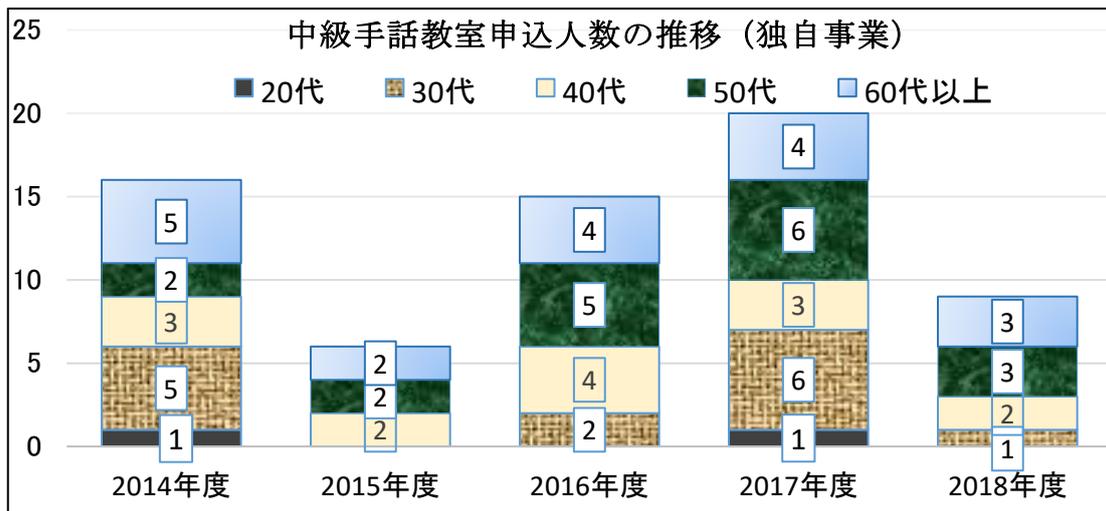
入門講座で習得した初歩的な日常会話のレベルアップと基本文法の習得を目指し、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史について学習、全国手話検定試験の受験対策にも対応した昼間の中級手話教室を開催した。

期間：2018年5月16日（水）～12月19日（水）（30回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生9名（修了生9名）ろう講師2名 聞こえる講師2名

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者



(4) 第11回レベルアップ手話講座（昼間）

中級手話教室（基礎）修了者を受講対象とし、中級手話講座と手話通訳者養成講座の間に位置する講座として、手話の特徴（8つのポイント）を中心に学び、個々の力のレベルアップを目指す講座を開催した。

2019年1月16日（水）～2月13日（水）（全5回）での開催予定だったが、申込者が最少催行人数に満たなかったため、やむなく中止した。

(5) 2018年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）（夜間）
あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習する手話教室を開催した。

期間：2018年7月13日（金）～27日（金）（3回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生12名 講師1名 助手1名

対象：調剤薬局関係者

(6) 2018年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）

病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、話が通じやすい環境が広がっていくことを目的とした手話教室を開催した。

期間：2018年11月2日（金）～16日（金）（3回）

受講人数：受講生19名 講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：病院関係者

(7) 2018年度60歳から始める手話講座（昼間）

身近に暮らしている聴覚障害者のことを知り、初歩的な手話での挨拶を覚える事をきっかけに、聴覚障害者への理解を深めてボランティア活動に役立てる、又はじめての手話教室に進んでもらえるよう、開催した。

期間：2018年8月31日（金）（昼間）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生7名 講師1名 助手1名

対象：60歳以上の者

(8) 2018年度はじめての手話教室（福祉編）（集中講座）

聴覚障害者が行きやすい、話を通じやすい環境を整えるために、介護、施設などでの日常会話、専門用語に関する手話表現を学ぶ教室を開催した。

期間：2018年11月17日（土）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生7名 講師2名 助手2名

対象：介護職関係者

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2018年8月～2019年3月（6回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	参加人数
第1回	2018年 9月11日	(地震のため中止)	市民	
第2回	10月24日	札幌文化芸術交流センター(昼間)	市民	12名(欠席4名)
第3回	11月14日	北区民センター(夜間)	市民	8名(欠席6名)
第4回	2019年 1月8日	白石区民センター(昼間)	小学4～6年の 子供・保護者	21名(欠席7名)
第5回	1月10日	札幌市生涯学習センター(昼間)	小学4～6年の 子供・保護者	22名(欠席6名)
第6回	3月11日	さっぽろテレビ塔(夜間)	市民	29名(欠席10名)

【手話普及事業担当】

- ・はじめての手話教室・中級教室の申込人数は、2017年度よりやや減少。
- ・フォローアップ手話教室、医療編は目標申込人数に達した。
- ・新規「ホテルなどで働く人対象」の手話講座については、普及事業としての打合せ不足により保留としていたが、開催日程の調整がつかず中止。
- ・来年度も引き続き、受講の呼びかけ方法などの工夫する必要がある、各講座15名以上を目指す。
- ・札幌市ミニ手話講座については、第1回は北海道胆振東部地震の影響で中止となったが、第2～6回は予定通り開催した。申込人数はほぼ目標どおり達成できたが、当日の欠席が多かった。年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見られた。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業（独自事業）

期間：2018年4月～2019年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

受付：法人事務局

(1) ボランティア活動センターからの依頼 26件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
6月6日	福住小学校	小学5年（全学年）	112名
6月15日	栄東小学校	小学5年（2クラス）	77名
7月11日	ひばりが丘小学校	小学4年（2クラス）	53名
8月24日	本郷小学校	小学4年（2クラス）	54名
8月29日	稲積中学校	小学4年（2クラス）	41名
9月18日	月寒東小学校	小学4年（3クラス）	89名
9月19日	北都中学校	中学1年（4クラス）	83名
9月21日	新川小学校	小学4年	33名
9月26日	稲積中学校	小学4年	8名
10月4日	北九条小学校	小学4年（選択制）	30名
10月10日	厚別北中学校	中学1年（2クラス）	64名
10月12日	みなみの杜高等支援学校	高校1年（2クラス）	56名
10月19日	新発寒小学校	小学4年（2クラス）	55名
10月23日	札幌小学校	小学4年（2クラス）	59名
11月7日	北栄中学校	中学3年（選択制）	45名
11月15日	屯田北中学校	中学1年（4クラス）	140名
11月16日	屯田北中学校	中学1年（4クラス）	141名
11月20日	新川中央小学校	小学3年（2クラス）	77名
11月21日	手稲東小学校	小学4年（3クラス）	88名
11月29日	新陵小学校	小学4年（2クラス）	64名
11月30日	白楊小学校	小学4年（選択制）	25名
12月13日	月寒小学校	小学5年（3クラス）	93名
2019年2月1日	清田小学校	小学4年（2クラス）	74名
2月12日	元町北小学校	小学4年（2クラス）	64名
2月14日	元町北小学校	小学4年（2クラス）	64名
2月22日	中の島小学校	小学5年（3クラス）	87名

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 4件

年月日	講座名	対象	人数
2018年4月12日	手話体験講座①	市民	18名
5月17日～6月28日	ボランティアのため入門講座7回	市民	27名
12月11日	手話体験講座②	市民	23名
2019年1月15日～2月26日	ボランティアのため入門講座7回	市民	30名

(3) 直接依頼（企業・団体・他） 12件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
2018年5月14日	札幌医科大学	医学部1年	110名
5月21日			
5月24日	鉄東会館	福まち協力員	50名

6月28日	中央区社会福祉協議会	市民	6名
7月11日	白石老人福祉センター	老人福祉センター利用者	19名
8月17日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	19名
9月19日	里塚美しが丘地区センター	小学4年 とシニア	80名
9月26日			80名
11月6日	キャリアバンク株式会社	障害福祉サービス事業所職員	19名
12月7日	キャリアバンク株式会社		14名
2019年1月10日	札幌市教育センター	教職員	22名
3月15日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	24名

2. 手話養成普及事業(手話コミュニケーションができる人の養成)(独自事業)

(1) 講師派遣事業

期間：2018年4月～2019年3月（年間）

場所：市内各所、市外1件

受付：法人事務局

期間・回数	学校名・企業名等	学科名等対象	人数
通年第4木曜日	耳鼻咽喉科麻生病院	院内従事者	10名前後
通年木曜日14回	札幌聖心女子学院	中学2年(2クラス)	24名
通年木曜日15回		中学3年(2クラス)	27名
通年木曜日27回		高校1年	14名
前期10回	三幸学園札幌医療秘書福祉専門学校	介護福祉科1年	19名
前・後期32回		くすりアドバイザー科1年	32名
前期10回	一番街商店街振興組合レディス会手話サークル	一番街商店街従事者対象	21名
45分×15コマ	池見札幌歯科衛生士専門学校	歯科衛生士科3年	10名
前期11回	経専学園北海道観光専門学校	エアライン科2年	14名
後期10回		エアライン科1年	17名
前期11回		旅行科2年	13名
後期11回		旅行科1年	5名
前・後期10回		ホテル科2年	35名
前・後期10回		ブライダル科1年	12名
前期13回		経専学園医療事務薬業専門学校	医療事務学科2年
後期13回	医療事務学科2年		8名
前期14回	薬業学科2年		14名
後期13回	薬業学科2年		3名
前期(16回)	光塩学園女子短期大学	保育科2年(2グループ)	82名
前期(15回)	北海道医療大学	臨床心理学科	34名

前期(10回)	エス・ワン動物専門学校	全科2年	27名
後期(15回)	札幌心療福祉専門学校	精神保健福祉科3年	14名
前半・後半16回	札幌医科大学	看護学科・作業療法学科・理学療法学科 1年	88名
後期前半×8回	経専学園	こども未来学科3年	17名
後期後半×8回	北海道保育専門学校	こども学科2年	25名
前期(15回)	さっぽろ市民カレッジ	高校生・一般	25名
後期(14回)	(ちえりあ)	高校生・一般	13名

3. 講師・助手研修会開催

年間2回開催予定だったが、日程が合わず中止した。

講師・助手の増員をはかり「新登録講師・助手説明会」開催した。

日時：2018年12月5日

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：講師・助手6名（ろう者3名・聞こえる者3名）

4. その他

サマーフォーラム in 沖縄（全通研集会）でのレポート発表

日程：2018年8月17日（金）～19日（日）

会場：沖縄県立武道館／沖縄国際大学

出席：土居 有希子（職員）

1 日目（8月17日）開会式・講演

第1部 式典および特別講演

第2部 記念講演「カメジローと沖縄の不屈の精神」

講師：TBS テレビ報道局編集部記者 佐古 忠彦 氏

2 日目・3 日目（8月18日～19日）講座・分科会

【第6分科会 仲間づくりと育ち合い「学習会や手話通訳者等の養成」】

参加者 39名（内ろう者12名）

前年の分科会報告の後、レポート発表とグループ討議が行われた。

①（社福）東京聴覚障害者福祉事業協会 東京手話通訳等派遣センター

②（公社）札幌聴覚障害者協会手話普及事業

それぞれの協会が行っている独自教室や講師・助手登録に関する取り組みなどについての発表があり、それに対する質疑応答の後、奉仕員養成から通訳者養成への移行や指導する上での課題等、各地の状況についての意見交換を行った。講師の資質向上や人材不足など、抱えている課題に共通点をみた。

【手話普及事業担当】

単発講座の派遣数は2017年度とほぼ同様ですが、複数学級で同時に進行することが増え、講師、通訳人材不足のため、派遣調整がつかない場合は講師、通訳を外部へ依頼した。来年度、さらに増える見込みである。

新登録の講師としてろう者1人、聞こえる者1人が見学した。

ろう講師・聞こえる講師・通訳の確保、人材育成、資質の向上が必要である。

専門学校依頼件数は学校側の経営困難、学生数の減少等に伴い、契約、

コマ数が減少している。学生募集を停止する学校等も出ている。

Ⅶ 第13回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

（1）面接委員登録研修

目的：検定試験における面接部分を担当し、受験者のコミュニケーション能力の評価をする面接委員構成の為および、3年間派遣がない委員が役割等を再確認し、資質・技術向上を図るために開催

日時：2018年7月21日（土）10：00～16：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

講師：高嶋 正博 氏

参加人数

共通講義	5級	3級	2級	合計
22名	22名	22名	21名	87名

（2）面接委員スキルアップ研修

目的：検定試験における面接を担当し、受験者のコミュニケーション能力の評価をする委員としての資質・技術向上のために開催

日時：2018年7月22日（日）9：30～17：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

講師：高嶋 正博 氏

参加人数

共通講義	5級	4級	3級	合計
5名	5名	4名	4名	18名

（3）受験者のための学習セミナー開催

目的：試験に先立ち、受験者に事前学習の場を提供するとともに本試験の意義を理解し、手話の学習意欲の増進を図るために開催
また、面接委員有資格者の演習の場としての意味をも持つ

日時：2018年9月1日（土）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

講師：ろう者1名・聞こえる者3名

模擬面接委員：ろう者4名・聞こえる者13名

参加人数

	5級	4級	3級	2級	合計
受講者	34名	24名	19名	9名	86名

（4）地域試験委員会代表者および面接委員責任者会議

日時：2018年9月8日（日）

会場：全国手話研修センター

出席：土居 有希子（事務局）

内容：全国手話検定試験開催に向けての準備や全体の流れ、面接試験に関する留意事項や経理処理等、詳しい説明と質疑応答
災害などの緊急事態が発生した際の中止・振り替えの判断や受験者

への連絡方法などについて

- (5) 第13回全国手話検定試験（団体試験）面接委員派遣協力
 企業・学校・団体等が開催する団体試験に対しての面接委員の派遣

日時：2018年9月27日（木）5級16名

会場：光塩学園女子短期大学

派遣：面接委員（ろう者1名、聞こえる者1名）、要員2名

- (6) 第13回全国手話検定試験の実施

日時：2018年10月13日（土）5級・4級

10月14日（日）3級・2級

10月20日（土）準1級・1級

会場：市視聴覚障がい者情報センター

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
申込者	117名	100名	107名	36名	18名	8名	386名
受験者	107名	92名	99名	35名	16名	8名	357名
面接委員	9名	8名	16名	8名	4名	2名	47名

面接委員：ろう者21名、聞こえる者26名

要員：ろう者35名、聞こえる者48名

【手話検定試験担当】

- ①受験人口が全国的に増加の一途をたどる中、面接委員不足が大きな課題となっているため、2年ぶりに『面接委員研修』を開催した。十勝管内を中心に道内各地から参加した受講者22名全員が面接委員としての登録を済ませたが、時間の都合により4級開催は断念せざるを得なかった。来年度または早い段階で、4級の補完をメインとした研修を開催する必要がある。
- ②毎年、試験を開催している中で、面接委員としての学習や再確認の場を求める声が多く聞かれるようになっていたため、初の試みとして『スキルアップ研修』を開催した。予想に反して申し込みが少なく、2級は中止、他の級も一桁留まりであった。周知やアプローチの方法を工夫したい。
- ③例年の申し込み数や講師確保の観点から『学習セミナー』は5級から2級までの開催とした。受講者は各グループ内で協力し合いながら、良い雰囲気の中で学習する事ができていた。試験の演習の場でもあるので、面接委員には積極的に協力をもらいたいところであるが、ろう面接委員が少なく、ここ数年バランスが取れていない状態が続く。
 面接委員の技術向上と共に、今後は学習セミナーの講師の育成も考えたい。
- ④面接委員の派遣協力をしている光塩女子短大の『団体試験』は4年目を迎えた。面接委員に加え、音声要員の協力要請もあったため、2名ずつ派遣したが、現場では予定にない対応も求められたとの報告有り。本部とも確認を密にしながら、学校側に理解を求めていく。
- ⑤社会福祉総合センターが工事で使用できなかつたため、情報センターの全館使用で試験の開催を決定したが、定員を大幅に超える申し込みがあった。苦慮しながらも全員受け入れたが、今後受験者が増加し続けた場合、会場

確保については何らかの対策が必要となる。

VII 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

（1）2018年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

全課程を学ぶことを基本とした他、手話講習会の講師研修会2回分を取り込み、手話奉仕員課程の回数を増やし、手話奉仕員課程のみの受講を認めて基礎課程まで学んでもらうこととした。

①手話奉仕員養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
奉仕員課程	16回	11月10日～12月9日	39名	22名	56.4%

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷梯子、菅原美樹、山田幸雄

②全課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
全課程	28回	11月10日～3月17日	22名	9名	40.9%

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷梯子、山田幸雄

③理論講義手話通訳者養成課程

	講師	実施日	受講者数
手話通訳の理念と仕事	全国手話研修センター 小出新一氏	11月10日	39名
ことばの仕組み(手話)	筑波技術大学 大杉豊氏	3月17日	44名

【手話講師育成講座講師団】

昨年同様、ろう講師は札幌協会の会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当し、調整して進めた。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

受講者が通いやすい土日集中型として3年目であるが、他行事との重なりが避けられず、修了率は高くない。2018年度は手話講習会の講師研修2回分を育成講座として増やしたため、更に日程確保に苦慮した。凝縮されたスケジュールで受講生は予定を調整しながら通っている状況であるが、アンケートでは、カリキュラム（期間及び回数）は「ちょうど良い」と答える意見が大多数となっている。今後もできる限り、他予定と重ならない日程確保に努め、より多くの方の受講ができるように考慮する。

講師によるモデル講義をたくさん見たいという要望と、模擬講習で経験を積んでもらうことをねらいとして講座を進めた。

受講希望者から要望もあり、2018年度は、入門から基礎までの手話奉仕員養成課程としたことは、手話講習会の講師を担っている受講生に基礎課程も学べる機会となった。講師としての活動を考えると、幅広く知識と技術を習得し、全課程を担える人材育成を目指している。理論講義では、2回外部講師を招き、手話通訳の仕事や手話言語について理論的に学ぶことができおり、今後も貴重な学習として継続していきたい。

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：12名×2ヶ所）
聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

（1）地域活動支援センターほほえみ西

- ①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
②手話通訳を介しても理解が難しい利用者や家族、医療機関などへの支援
③同じマンション内にある歯科への受診
（義歯の破損や急な痛みがあった際の診察同行、重い障害がある利用者の待ち時間負担の軽減）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒4条3丁目4-35 カルチェド札幌108号室

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

㊦通所者数・月別(延べ人数)（単位：名）

	18年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年 1月	2月	3月
男性	90	99	90	127	111	111	110	126	98	70	70	150
女性	115	88	129	111	97	104	114	112	62	60	74	83
合計	205	187	219	238	208	215	224	238	160	130	144	233

㊦各区分別・月別(延べ人数)

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	3	7	4	1	0	0	1	9	7	0
女性	0	5	10	4	1	1	1	0	3	10	1
合計	1	8	17	8	2	1	1	1	12	17	1

（2）地域活動支援センターほほえみ厚別

- ①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
②緊急時の関係各所へ連携（ケアマネジャーやろうあ者相談員、通訳派遣室への連絡）
③不安や悩みがある家族に対しての相談と情報提供（区役所やろうあ者相談員、ほほえみ事業所等の紹介など）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：白石区栄通18丁目10-16 ハマナスビル103号

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

①通所者数・月別(延べ人数)

（単位：名）

	18年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年 1月	2月	3月
男性	90	99	90	127	111	111	110	126	98	70	70	150
女性	115	88	129	111	97	104	114	112	62	60	74	83
合計	205	187	219	238	208	215	224	238	160	130	144	233

男性	52	43	64	64	64	64	79	67	41	32	43	45
女性	68	56	70	84	69	69	79	93	63	57	59	69
合計	120	99	134	148	133	133	158	160	104	89	102	114

②各別・月別(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	1	8	6	4	1	0	1	2	0	1
女性	1	1	4	2	9	0	2	0	1	0	2
合計	2	2	12	8	13	1	2	1	3	0	3

(3) ほほえみ西・ほほえみ厚別 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				合計
			利用者	ボランティア	職員	その他	
2018年 4月16日	絵手紙を描いてみよう！！	ほほえみ西集会室	19	4	7	1	31
5月11日	お花見会	モエレ沼公園	19	6	7	20	34
6月11日	社会見学	円山動物園	28	6	7	1	42
7月8日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	31	7	7	0	45
7月24日	カフェ食事会 (ほほえみ厚別)	ほほえみカフェ	10	0	2	0	12
7月27日	カフェ食事会 (ほほえみ西)	ほほえみカフェ	7	2	3	0	12
8月1日	社会見学	北海道大学博物館	22	6	6	0	34
10月29日	社会見学	札幌市民防災センター	20	3	7	0	30
11月12日	社会見学	岩塚製菓千歳工場	28	5	7	0	40
11月24日	全国聴覚障害者福祉研究交流集会 報告会	情報センター2F大会議室	14	2	6	16	38
11月28日 ～29日	一泊旅行	虎杖浜温泉 ホテルいずみ	20	4	6	0	30
12月22日	クリスマス会	身体障害者福祉センター	40	11	7	4	62
2019年 3月25日	西9周年・厚別6周年お祝い会	ほほえみ西集会室	36	9	6	0	51

(4) 2019年度に向けての課題

①ほほえみ西

- ㉞利用者の総数は減っているが、新規申し込みや長く休んでいた利用者がまた通うようになるなどの動きがあり、地域活動支援センターの内容を理解して長く楽しく通ってもらえるような促しや支援をしていくことが重要と考える。
- ㉟高齢化に伴い、施設への入所やデイサービスへの通所など、利用者の生活にも変化が出ており、地域活動支援センターへの通所に関しては体調や送迎、また行事への参加などで他施設や家族との連携を密にしていく必要がある。
- ㊱日中活動の物作りに関しては、座布団の売れゆきが好調であるため、利用者も熱心に取り組んでいるが、1日を個々の作業で終わるのではなく、

ゲームやおしゃべりなどの交流も大切と考える。楽しく交流できるよう、1日の流れを計画的に考え進めていくことが求められる。

②ほほえみ厚別

⑦利用者の高齢化に伴い、通院や入院などの理由により、総数が減少の傾向にある。通所者数を増やして行きたい。そのためには、魅力ある日中活動や新規登録者を増やすなど、内容を考えていく。

⑧物作りが得意な利用者が多いが、その技術を活かせない事もあった。個々に合った物づくりを考え、手芸品や小物作りなどのバザー品の製作を行い、売り上げの向上に繋げていきたい。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

（1）利用者数

（単位：名）

	18年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年 1月	2月	3月
利用者数	39	39	41	41	42	42	42	42	42	42	42	42
延べ利用者数	542	573	583	584	591	407	594	578	571	486	535	600

（2）行事参加状況

（単位：名）

月日	内容	場所	参加者数				
			利用者	ボランティア	職員	その他	合計
2018年 6月27日	社会見学	ひかりパン工房・共生型コミュニティ農園ぺこぺこの畑・北欧の風道の駅とうべつ	26	2	11	0	39
7月8日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	17	2	11	0	30
9月30日	札幌ろうあ者文化祭典	身体障害者福祉センター	26	2	14	0	42
2019年 1月5日	鏡開き (白石少年武道教室)	札幌刑務所振武館	0	0	1	0	1
3月21日	仲間の話し合い	かでの2.7	28	0	14	0	42

（3）出店バザー

月日	行事名	場所
2018年 4月6日,7日	郵便局バザー	豊平郵便局
4月12日,13日	福祉バザー清田	清田区役所
4月18日	郵便局バザー	南郵便局
4月22日	盲導犬協会	北海道盲導犬協会

4月30日	ほほえみ後援会バザー	市視聴覚障がい者情報センター
5月22日,23日	郵便局バザー	豊平郵便局
5月24日	白石区役所バザー	白石区役所
5月27日	社員総会	市視聴覚障がい者情報センター
5月30日	実証実験	市社会福祉総合センター
6月15日 18日19日	郵便局バザー	豊平郵便局
6月30日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
7月8日	ほほえみ祭り	市身体障害者福祉センター
7月21日,22日	笑顔祭り	サンピアザ光の広場
7月22日	高聳祭バザー	北海道高等聳学校
8月1日,2日	郵便局バザー	豊平郵便局
8月23日	白石区役所バザー	白石区役所
9月13日	白石区役所バザー	白石区役所
9月25日	郵便局バザー	南郵便局
9月30日	札幌ろうあ文化祭	市身体障害者福祉センター
10月9日,10日	郵便局バザー	南郵便局
10月11日,12日	郵便局バザー	豊平郵便局
10月13日	アビリンピック	ポリテクセンター北海道
10月18日,19日	白石区役所バザー	白石区役所
10月18日,19日	福祉バザー	清田区役所
11月2日	女性プラザ	道民活動センター
11月13日,14日	郵便局バザー	豊平郵便局
11月15日	白石区役所バザー	白石区役所
11月26日～28日	郵便局バザー	南郵便局
12月1日,2日	合同研修会	道民活動センター
12月1日,2日	元町イオン	元町イオン
12月4日,5日	福祉バザー	清田区役所
12月6日,7日	郵便局バザー	豊平郵便局
2019年 2月16日,17日	にこにこ祭り	サンピアザ光の広場
2月21日	白石区役所バザー	白石区役所
2月28日・3月1日	福祉バザー	清田区役所
3月3日	耳の日市民のつどい	かでの2.7
3月14日	白石区役所バザー	白石区役所

(4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

(5) 実習 受け入れ状況

月日	期間	学校名	学年	人数	性別	内容
2018年 10月22日～26日	5日間	北海道札幌聾学校 中等部	3年	1	女	就業体験
12月5日	1日	北海道札幌聾学校 中等部	1年	2	男	職場体験
2019年 3月11日～15日	5日間	北海道夕張高等 養護学校	2年	1	男	実習

(6) 見学・取材 受入れ状況 (単位：名)

月日	見学場所	人数	団体名・見学内容
2018年 4月19日	ほほえみカフェ	1	ボランティア希望 施設見学
6月6日	ほほえみカフェ	1	通所希望者 施設見学
7月26日	ほほえみ作業所 菓子工房ほほえみ	2	夕張高等養護学校 施設見学
8月30日	ほほえみカフェ	1	ボランティア希望 施設見学
10月9日	ほほえみカフェ	1	道新取材 (ハワイ風スコーン)
10月16日	ほほえみカフェ ほほえみ作業所 グループホーム	2	横浜聴覚障害者協会 施設見学
11月8日	ほほえみカフェ ほほえみ作業所	29	韓国テジョン広域市協会 施設見学と食事
11月8日	ほほえみカフェ		道新取材 (アイヌ刺しゅう)
11月15日	ほほえみカフェ	1	施設見学
11月19日	ほほえみ作業所 菓子工房ほほえみ	3	群馬大学教育学部
11月21日	ほほえみカフェ	2	ボランティア希望 施設見学
11月22日	ほほえみカフェ		NHKテレビ取材 (アイヌ刺しゅう)
11月26日	ほほえみ作業所	1	ボランティア希望 施設見学
12月4日	ほほえみ食堂	3	UHBテレビ取材
12月13日	ほほえみカフェ	2	ボランティア希望 施設見学
12月17日	ほほえみ食堂	8	室蘭聾学校 施設見学
12月26日	ほほえみ作業所	1	ボランティア希望 施設見学
2019年 1月11日	ほほえみカフェ	1	室蘭聾学校寄宿舎指導員 施設見学
1月12日	ほほえみカフェ	2	ボランティア希望 施設見学
2月27日	菓子工房ほほえみ	2	ボランティア希望 施設見学
3月6日	ほほえみカフェ	1	ボランティア希望 施設見学
3月13日	作業所・グループ ホーム	1	世田谷区聴覚障害者協会 施設見学

(7) 防災訓練

月日	場所	参加者数				
		仲間	ボラ	職員	その他	合計

2018年 10月24日	千歳市「そなえーる」	23	2	11	0	36
11月30日	菓子工房ほほえみ	4	0	2	0	6
1月21日	ほほえみ作業所	15	0	5	0	20

(8) 送迎サービス

(ア) 盲ろうの仲間（自宅⇄各事業所：徒歩・送迎車）

月	18年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年 1月	2月	3月	合計
回数	75	66	78	83	101	45	89	108	115	95	105	81	1041
職員 送迎	4	3	4	4	4	2	4	5	17	15	22	4	88
家族	0	0	0	0	0	0	0	1	17	11	6	0	35
送迎 車	71	63	74	79	97	43	85	102	81	69	77	77	918

(イ) 事業所間の送迎（地下鉄⇄作業所：送迎車）（盲ろう者他）

月	18年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年 1月	2月	3月	合計
回数	147	150	156	169	182	109	150	149	109	91	119	136	1667

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け・委託作業

包装作業	シール貼作業【25,973枚】 タグ付け作業【1995個】 袋詰め作業【月～金】 ダイレクトメール封入作業【35,641通】
施設外就労	企業内での包装作業【55回】
丁合作業	区役所の窓口用袋の丁合作業【16,500部】
新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業
手提げの紐つけ作業	【16,400枚】袋の裁断作業も行っている。
真空包装作業	【48,024枚】作業効率が上がり納品数が増えている。

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	新たに着物生地を使い羽織物やストールを製作。その他新しい商品を考え売り上げを増やすよう取り組んでいる。
紙製品	点字の封筒は新しい形や大きさを変えて製作。販売数を増やせるように工夫している。

③作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	13,994	30,677	101,219	145,890
5月	1,527	23,041	49,483	74,051
6月	2,600	46,533	96,566	145,699
7月	30,507	37,638	73,641	141,786
8月	7,600	41,542	22,082	71,224
9月	18,660	34,928	244,795	298,383
10月	36,085	9,996	51,508	97,589
11月	14,586	19,132	183,973	217,691
12月	24,249	22,002	108,412	154,663
1月	309	37,053	233,125	270,487
2月	10,857	14,352	120,850	146,059
3月	3,226	13,682	132,496	149,404
合計	164,200	330,576	1,418,150	1,912,926

【目標】

ほほえみ作業所では、下請会社が新たに1社増え、売上増につなげることができた。

2019年度は、作業効率をあげるため補助具の工夫等をして受注量を増やせるよう取り組んでいきたい。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、納品やバザー、訪問販売等を通して、社会とのかかわりを促した。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、商品の開発利用者の技術の向上を目指す。

製菓・製パン作業	製パンでは、行事などに合わせて新しいパンの販売を始め、パッケージや、販売方法を工夫し予約注文の数が増えた。製菓では、今まで出来なかった作業でも、道具を使用することにより出来るようになるなど、現状を維持しながら仕事の幅を広げる努力をしている。
----------	--

ミニショップ	週3日(火・水・木)11時～15時まで販売。 のぼりを新しく購入したことで、初めてのお客様が増えた。その後も定期的に通っていただき定着しつつある。
社会への参加	外出行事の機会を増やした。今まで参加できなかったイベントや施設の見学をしながら、通所時の注意や心配なこと、いつも困っていることを再確認した。

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：名)	営業日数 (単位：日)
4月	26,698	75,952	102,650	55	9
5月	30,507	64,058	94,565	69	10
6月	28,634	76,896	105,530	36	10
7月	26,739	76,942	103,681	83	12
8月	28,565	52,488	81,053	60	13
9月	15,080	59,806	74,886	37	7
10月	28,191	75,399	103,590	72	11
11月	37,099	77,017	114,116	81	13
12月	24,364	88,524	112,888	58	9
1月	23,212	32,214	55,426	75	10
2月	18,067	46,538	64,605	47	8
3月	16,468	46,351	62,819	48	8
合計	303,624	774,528	1,078,152	721	120

③新しい取り組みと効果

見守りボランティア	見守りと声掛けをお願いすることで、効率よく作業が進むようになり、商品に貼るラベルを製作することができた。
-----------	--

【目標】

菓子工房ほほえみでは、安全に作業ができるように、日々の体調確認や精神面での安定に気をつけながら技術の向上と社会参加につながる取組を続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・喫茶業務の仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	計 (円)
4月	234	152,930	306,617	459,547

5月	255	157,320	233,381	390,701
6月	268	154,216	241,807	396,023
7月	271	123,274	252,973	376,247
8月	282	158,880	278,792	437,672
9月	243	164,980	320,758	485,738
10月	322	208,175	287,645	495,820
11月	403	275,530	261,835	537,365
12月	324	234,870	487,419	722,289
1月	204	137,920	137,233	275,153
2月	270	201,760	326,766	528,526
3月	312	215,690	240,826	456,516
計	3,388	2,185,545	3,351,759	5,561,597

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	デフフォトクラブ写真展
	5月	帯広の小川さん
	6月	東京の高橋さん
	7月	ぶんれい一座の絵手紙展
	8月～9月	デフフォトクラブ写真展
	10月	西條氏 絵展
	11月	アイヌ文様刺しゅう作品展
	12月	ワークショップ「実の里」様 利用者さんの絵画
	1月～2月	ぶんれい一座の絵手紙展
	3月	佐々木八代恵氏 個展
手話サロン	第1水曜日	平均参加人数15名
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	平均参加人数6名

③取り組み

期間	内容
4月～3月	カフェにて委託販売（トマトソース・味噌等）
4月～3月	南郵便局、豊平郵便局バザー（3～5回/月）、白石区役所バザー
4月～10月	ほほえみ手稲（1回/月）、エル・クオール訪問販売（1回/月）
4月～3月	さっぽろ産業訪問販売、あかしあ訪問販売、和田歯技研訪問販売
4月～3月	元気ショップ・いこーるでシフォンケーキ販売開始 ハワイスコーン委託製造
5月	母の日菓子販売

6月	オープン5周年記念
10月	ハロウィンケーキ販売
12月	クリスマス特別ランチとクリスマスケーキ販売 カフェにて委託販売（カレンダー）
2月	バレンタインケーキ販売
3月	ひな祭り菓子販売

【成果及び目標】

ほほえみカフェでは、利用者と職員が定期的に話し合いの機会を作り、新製品の開発に努め好評を得た。また委託製造という新たな収入源を開拓することができた。

9月の北海道胆振東部地震の際は、停電による大量の食材廃棄やバザーの中止があり、損害を受けた。（約30万円）

2019年度は、売り上げ増を目指し、販売先の新規開拓に努めたい。また新しい通所者を増やすために、カフェの魅力伝えるイベントの企画を考えていく。

(12) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～14：30

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数・売上

月	人数(名)	営業日数(日)	食堂・収入(円)
4月	463	18	232,306
5月	468	18	241,342
6月	497	19	247,653
7月	513	20	286,556
8月	379	19	212,352
9月	332	12	228,775
10月	482	20	245,451
11月	535	19	271,391
12月	392	17	213,517
1月	384	17	207,075
2月	408	17	211,588
3月	433	18	220,403
計	5,286	214	2,818,409

【成果及び目標】

ほほえみ食堂では、利用者と職員が話し合いを重ねて、お客様に喜んでいただけるようなイベントやお得メニューなどを工夫した。

9月の胆振東部地震の際は、停電による大量の食材廃棄あり損害を受けた。

(約10万円)

2019年度は、新メニューを増やし、また味にこだわることで常連のお客様を増やせるよう努力したい。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

共同生活援助事業（外部サービス利用型）（入居定員5名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

①利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延人数	114	118	115	118	126	138	149	146	148	145	134	151

②行事

㊦防災訓練 4回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2018年 10月24日	千歳防災センター 「そなえーる」	4	1	B型 合同	5
2019年 1月21日	施設 昼間地震発生を想定	5	3	0	8
3月19日	施設内 夜間地震発生を想定	5	2	0	7

㊧外出レクリエーション

月日	場所	参加者数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2018年 5月5日	サッポロさとらんど	3	1	2	6
2019年 3月21日	紀ノ国屋書店買い物	3	1	1	4

* 季節の行事は 随時行っている。 11月に定期健康診断受診（勤医協札幌病院）

③見学者

月日	年齢	性別	結果
8月9日	50代	男	体験入居から本契約に至る

④ 取り組みと効果

家賃の見直しを行い、均等化を図ったことにより家賃の軽減につながった。専従の世話人を2名配置したことにより、朝と夕方の食事と支援の充実を図ることができた。

【目標】

聴覚障害者グループホームよつばでは、防災用品の再確認と補充を行うとともに災害時、どう身を守るのかを常に一人ひとりに確認を行っている。

2019年度は、さらに「避難確保計画」を作成し、より安全に暮らせるよう取り組んでいきたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
5月12日	新職員研修・全職員研修	公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長及び職員	18	全職員
5月21日	支援センター職員研修 ワールドカフェ	聴覚障害者支援センター ほほえみ職員	17	全職員
6月19日	食品表示法研修会	(株)フードテクニカル・ラ ボ 伊藤健氏	1	B型職員
7月18日 ～20日	聴覚障害者施設新人研 修 聴覚障害者の運動 の歴史他	全国手話研修センター7理 事長他	1	全職員
7月30日 8月13日	個別支援計画事業者研 修会（基礎編）	北海道地域ケアマネジメ ントネットワーク	1	GH職員
10月20日 ～21日	全国聴覚言語障害者 福祉研究交流集会	全国ろう重複障害者 連絡協議会	2	全職員
11月29日	障害者総合支援法に基 づく集団指導	札幌市保健福祉局障がい 福祉課	1	B型職員
12月1日 ～2日	全国ろう重複協主任指 導員会議・研修	全国ろう重複障害者 連絡協議会	1	B型職員
12月3日・ 11日17日	障がい者支援者養成研 修	北海道地域ケアマネジメ ントネットワーク	1	GH職員
12月15日	全職員研修「災害発生 時の地域での支え合 い」	札幌市保健福祉局総務部 総務課 野浪 耕司氏	18	全職員
1月12日	製パン技術研修会	社福) さっぽろひかり福 祉会 小倉孝樹シェフ	2	B型職員
1月16日	個別支援計画事業者研 修会（応用編）	北海道地域ケアマネジメ ントネットワーク	1	GH職員
1月30日	避難確保計画	あいおいニッセイ損保	4	全職員
2月18日	避難確保計画について	聴覚障害者支援センター ほほえみ職員	15	全職員
2月26日 ～28日	北海道サービス管理責 任者研修	札幌市保健福祉局障がい 保健福祉部	1	GH職員
3月5日	食品衛生責任者資格養 成講習会	札幌市保健所	1	B型職員
3月14日	働き方改革法案につい て	さっされん主催 社会保 険労務士宮脇佑介氏	1	全職員
3月25日	食品表示基準に基づ いた加工食品表示	(株)寺岡北海道	3	B型職員

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2018年4月～2019年3月（年3回予定⇒2回実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
第1回	2018年4月7日	11名	第3回	2019年1月19日	11名
第2回	9月8日	中止			

時間：10：00～12：00

運営委員：

北海道高等聾学校：谷弘人教諭

北海道札幌聾学校：柴田和千代教頭

札幌ろう重複児・者家族会：後藤勇一会長

札幌手話サークル連絡協議会：菅原順子会長、吉田美穂広報部長

札幌手話通訳問題研究会：山田幸雄運営委員長、佐藤薫北通研担当

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長

那須美枝子会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長

ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター：岩崎剛所長

（公社）札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、佐藤正昭理事

【福祉・労働部より】

・運営委員会は、第2回の開催が胆振東部地震直後の為、中止となった。毎回、各所長より事業報告の後、質疑応答、意見交換や情報交換を行った。第3回委員会では事業報告に加え、地震による被害状況、売上への影響も報告した。

・札サ連のご協力の元、各サークルへ職員とボランティア募集の挨拶回りをさせていただき、協力者を募ることができた。

・14年間、出席頂いた「札幌ろう重複児・者家族会」より2018年度で解散の報告があった。

・今後も運営委員からアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

聴覚障害者支援センターほほえみの運営を円滑にするため、後援会主催の街頭募金活動に参加協力をした。

日時：2018年6月17日（日）・9月2日（日）

場所：大通公園周辺・狸小路4丁目

【福祉・労働部】

街頭募金活動に各支部や柔道少年団体など多数の参加を頂き、協力に感謝します。

各区より参加予定者数を前もって連絡頂けたので、後援会に伝え、担当場所の振り分けを決めて頂きました。

〔課題〕：大通周辺の催事（歩行者天国）の音量が大きく歩行者に聞こえるように声を張り上げて頑張ったので募金活動場所の選定に苦慮しました。今後に繋がります。

7. 福祉・労働部

「放課後等デイサービス」の事業について

4月12日（木）第2回会議を行った。保護者対象にアンケートの取り組みを検討しましたが、7月から札幌で放課後等児童デイサービス「ふくろう」ができたため、しばらく保留することにしました。

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2018年4月～2019年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室

内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

（1）講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	若手への継承～後編～	56
	韓国手話言語法とテジョンのろうあ者の暮らし	42
	手話と歩む石狩市のまちづくり	59
教材 (3本)	あなたは読めますか？北海道のオモシロ地名	9
	通じる手話の工夫パート4	47
	手話で昔話～桃太郎編～	13

（2）ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年4月号)	58
①札幌協清田区支部設立20周年 ②タイの訪問団がほほえみの郷を視察 ③2018年度新規札幌市登録手話通訳者	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年5月号)	26
①家の中で簡単にできる燻製作り	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年6月号)	50
①盲ろう者のお話	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年7月号)	28
①第6回ほほえみ祭り	

②厚別区民まつりで手話啓発活動	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年8月号)	20
①食品の保存	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年9月号)	30
①札幌ろうあ老人クラブの敬老会 ②第43回札幌ろうあ者文化祭典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年10月号)	31
①手稲文化祭(1)手話サークルていね ②手稲文化祭(2)手話サークルあゆみの会 ③手稲文化祭(3)手稲手話サークルやまびこ	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年11月号)	54
①韓国テジョン聾啞人協会と交流協定締結 ②第7回東区手話まつり	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年12月号)	58
①第11回札幌合同研修会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年1月号)	11
①札幌ろうあ老人クラブ新年会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年2月号)	45
①第32回市内手話サークル研修交流会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2019年3月号)	43
①第41回耳の日市民のつどい	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
ろうあ者の旅行記トークショー	15
2018年度札幌市手話動画集(1)	25
A I ×手話プロジェクト開発報告会編	15
地活ほほえみの活動～2018年～	30
2018年度札幌市手話動画集(2)	36

(4) インターネット配信用映像(札幌市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
字幕つきプラネタリウムの紹介	8分49秒
小型電気ボイラーからの出火に注意!	2分38秒
札幌市手話言語条例(全文)	6分14秒
停電時の食中毒に注意しましょう	1分51秒
地震災害に便乗した悪質商法などにご注意ください!	5分14秒
2018年度札幌市手話講習会修了式	8分
戦時下の札幌の暮らし	14分29秒
麻疹(はしか)患者の発生に伴う注意喚起	6分23秒
香りのエチケットについて	2分30秒
券売機で福祉割引のバス乗継券を購入する際に手帳の確認が必要です	4分8秒

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』12本（毎月1本）の他、「地方の手話」2本を提供。

3. 職員研修

「平成30年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」に参加
（参加者：京野職員）

日程：2018年11月15日～17日（3日間）

会場：長崎県聴覚障害者情報センター（長崎県長崎市）

〈1日目〉主な内容

「DAISYの取り組み ～手話動画同期やIPTVなど今後の関り」

講師：河村 宏氏（NPO法人支援技術開発機構副理事長）

「石川の取り組み 手話言語条例関係、ICTの活用」

講師： 壁下 潤一氏（石川県聴覚障害者センター）

〈2日目〉主な内容

「長崎の映像制作の取り組み」

講師：山下 達郎氏（長崎県聴覚障害者情報センター）

〈3日目〉グループ討議

「情報提供施設の映像制作を考える ～事業をどう拓げていくか～」

4. 備考

2017年度末に札幌市広報課より、札幌市長の定例記者会見に手話と字幕と付けた動画を制作する事業について話が出たが、2018年度には実現しなかった。広報課が内容を見直し、引き続き実現に向けて話を進めている。

Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（1）業務内容

①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。

②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。

③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。

④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（2）期間：2018年4月～2019年3月

（3）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

（4）開室時間

曜日	開室時間
月曜日	10時～17時

火曜日	10時～17時
水曜日	10時～20時45分
木曜日	10時～19時
金曜日	10時～20時30分

(5) 貸出内容：

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	11	30	44	17	14	18	14	6	6	13	24	6	203
利用人数	3	11	12	6	4	5	4	1	1	3	4	2	56
利用件数	5	16	26	14	12	11	8	4	2	6	11	4	119

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	122	94	106	115	133	71	66	55	119	68	75	65	1089
利用人数	50	34	69	87	35	29	64	17	57	57	70	68	637
利用件数	86	66	74	95	90	54	47	37	68	47	52	46	762

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、CS放送閲覧、プロジェクター利用) (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	2	4	1	2	2	2	2	0	1	3	1	1	21
IT閲覧	4	3	6	2	3	2	3	0	1	0	0	0	24
CS閲覧	4	4	5	15	5	6	9	4	2	3	2	2	61
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
プロジェクター	26	44	37	34	48	45	52	51	24	19	26	30	436
OHC	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
合計	38	57	49	53	58	55	66	56	29	25	29	33	548

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	7

個人(件)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
人数	3	0	0	0	0	33	35	28	33	16	0	0	148
見学団体一覧													
・韓国テジョン広域市聾啞人協会(4月11月) ・学校法人三幸学園札幌医療秘書福祉専門学校 ・石狩市民生委員 ・学校法人西野学園 ・北海道議会議員													

4. 備考

- (1) 「①聴力障害者情報文化センター(東京)制作ビデオ等」の貸出実績は年々落ちてきている。「NHKみんなの手話」の貸出が一番多い。
- (2) 「②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ」は貸出・視聴本数と借りた回数、利用者は月ごとに増減がある。
- (3) 2017年度同様、当協会のホームページやSNSによる情報発信を強化していく。そして、聴覚障害者団体に情報提供に努めていきたい。(団体はサ高住やほほえみ関係、手話サークルなど)
- (4) 2018年度より「目で聴くテレビ」がCS放送からIPTVに変わったことにより、初回放送済みの番組は、情報センター開館時間内であれば、いつでも好きな時間に視聴できるようになった。

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業(札幌市委託事業)

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2018年4月～2019年3月

(2018年度は31回開催、そのうち協会各区支部で1回ずつ開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
4月8日	断舍離	石塚祐江(NPO法人環境り・ふれんず代表理事)	24名
5月12日	登山の基礎知識	土栄拓真(登山ガイド/山楽者 BEAR 所属)	21名
5月13日	地形図とコンパスの使い方	土栄拓真(登山ガイド/山楽者 BEAR 所属)	14名
5月13日	燻製の作り方	石川武志(「くんせいとお酒の店Choi」店主)	16名
5月13日	メール・FAX110番通報する方法	札幌方面東警察署地域課	20名
6月14日	盲ろう者のお話	松浦美紀子・須田珠栄(札幌盲ろう者福祉協会 理事)	35名
6月23日	美術館に行こう	河村泳静(フランク・シャーマンコレクション所有者)	9名

7月7日	エンディングノートと終活	谷川雅純(ソニー生命保険株式会社エグゼクティブプランナー)	22名
7月8日	健康体操	向井雅子(インストラクター)	13名
7月12日	高齢者の食事	有江泰彦(株式会社明治・北日本支社札幌オフィス企画管理部コミュニケーション課)	35名
8月9日	食品の保存	竹田加代(札幌消費者協会派遣講師)	32名
9月8日	身体のツボとメンテナンス (※地震により中止)	山田英雄(針灸・マッサージ治療院あおぞらの空間 代表)	—
9月9日	認知症の正しい理解 (※地震により中止)	大内小百合(札幌認知症の人と家族の会 事務局長)	—
9月13日	韓国手話教室	鄭先華(韓国出身ろう者/デフリンピック・バドミントン元韓国代表選手)	51名
9月14日	韓国手話教室	鄭先華(韓国出身ろう者/デフリンピック・バドミントン元韓国代表選手)	27名
10月11日	お葬式のマナー	星原智信(コープさっぽろフリエ事業部 施行グループ長)	21名
10月11日	戦時下の札幌の暮らし	秋山淳子(東京大学文書館 特任助教)	35名
10月25日	カラダとツボの健康教室	山田英雄(針灸・マッサージ治療院あおぞらの空間 代表)	38名
11月7日	韓国テジョンのろうあ者の暮らし	パク・ジョンヒ(韓国ろうあ者協会テジョン広域市協会会長)	104名
11月8日	交通事故の基礎知識	北澤慎之介(弁護士)	30名
11月11日	AEDの使い方	高澤るり子・野村成子(札幌市厚別消防団東分団)	20名
11月11日	冬に備えて転ばぬ体力づくり	岩崎拓(健康運動実践指導者)	8名
11月16日	聴覚障がい者のための手話教室	佐藤尚行(札幌聴覚障害者協会 手話講師)	6名
11月17日	エンディングノートの活用術	横江光良(北海道金融広報委員会 金融広報アドバイザー)	8名
11月18日	男メシ	坂井利幸(調理師)	11名
12月13日	薬と健康	上野純子(薬剤師・アイン薬局桑園駅前店)	30名
2月2日	爪の病気	加藤優子(ゆう皮ふ科スキンケアクリニック院長)	13名
2月14日	チョコレートの世界へようこそ	堤秀子(株式会社明治 食育担当)	29名
2月17日	認知症の理解を深めよう	大内小百合(札幌認知症の人と家族の会 事務局長)	21名
3月14日	遺産相続	小泉純(弁護士)	31名
3月24日	カラダのツボと疲労回復	山田英雄(針灸・マッサージ治療院あおぞらの空間 代表)	17名

①年間参加者延人数が、2017年度の614名に対して、2018年度は741名で、127名増加した。

②9月に発生した北海道胆振東部地震の影響で会場が閉鎖されたため、2回中止となったが、開催実績に加えている。

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいをもつ聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の

訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	10	9	9	6	7	11	12	10	10	6	8	8	106
中途失聴	2	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	10
重複障がい	5	6	6	4	5	6	7	5	8	6	5	6	69
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	16	16	11	13	17	20	16	18	12	14	15	185

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構音	6	6	5	3	5	5	10	6	6	4	4	4	64
総合練習	8	9	10	5	6	8	8	7	11	8	7	8	95
読話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
その他	3	1	1	3	2	4	2	3	1	0	2	2	24
合計	17	16	16	11	13	17	20	16	18	12	14	15	185

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

VI 電話リレーサービス事業の実施（国補助事業）

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が聞こえる者と電話する際に、通訳者が間に入って手話や文字で通訳するサービス）の提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資する事を目的に実施した。

・北海道・東北ブロック（札幌・宮城・福島共同）として実施。

稼働時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10時～14時	福島	宮城	札幌	札幌	福島
14時～18時	宮城	宮城	札幌	札幌	福島

サービス提供日時：月曜～金曜 10時～18時

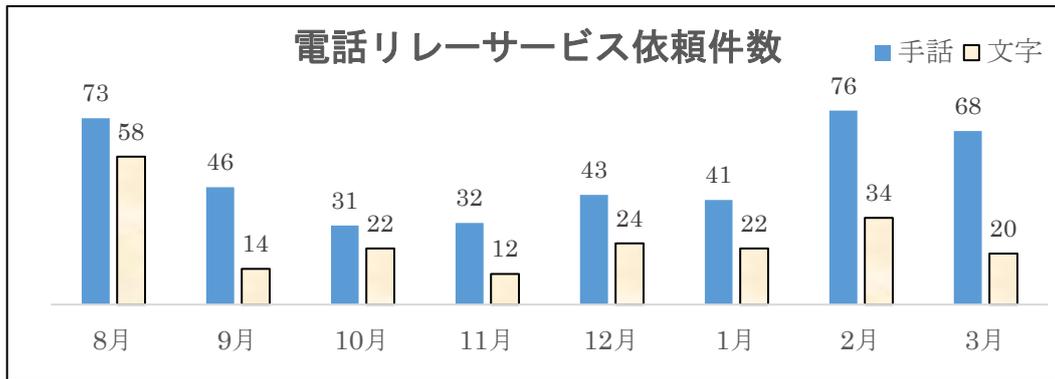
1日8時間（祝日・年末年始は休み）

場所：市視聴覚障がい者情報センター 法人事務室

期間：2018年8月～2019年3月

対象：電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

①依頼件数



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	73	46	31	32	43	41	76	68	410
文字	58	14	22	12	24	22	34	20	206
合計	131	60	53	44	67	63	110	88	616

②依頼内容

(単位：件)

依頼内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ・相談	9	28	34	21	38	34	61	45	270
予約・キャンセル	2	16	11	10	19	8	24	23	113
確認・連絡	4	9	6	9	6	18	22	13	87
仕事・業務連絡	1	2	0	0	0	0	0	2	5
その他	1	5	2	4	4	3	3	5	27
不明	114	-	-	-	-	-	-	-	114

*不明（開始時未集計分）

③通話時間

(単位：件)

通話時間	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10分未満	107	39	37	30	48	34	83	64	442
10～30分	23	18	14	12	15	25	27	21	155
30～60分	1	3	2	1	3	2	0	2	14
60分以上	0	0	0	1	1	2	0	1	5

研修及び会議

①電話リレーサービス事業に係る事前協議調整会議

日時：2018年5月24日（木） 13：30～16：20

場所：京都市聴覚言語障害センター

内容：電話リレーサービス2018年度事業開始にあたり実施施設の連携を図る

派遣者：高嶋正博常務理事・宮本眞知子職員

②電話リレーサービス事業学習会

日時：2018年5月26日（土） 10：30～12：00

場所：宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）
 内容：講演 千葉聴覚障害者センター 植野慶也所長
 「聴覚障害者情報提供施設がとりくむ電話リレーサービス事業」
 派遣者：宮本眞知子職員

- ③電話リレーサービス専用システム説明会
 日時：2018年7月23日（月） 13：30～16：00
 場所：日本財団
 内容：電話リレーサービスの仕組み・事例紹介・システム体験・事務手続きに関する確認事項
 派遣者：高嶋正博常務理事・宮本眞知子職員
- ④電話リレーサービス通訳事業者情報提供施設意見交換会
 日時：2018年12月12日（水） 13：30～17：30
 場所：日本財団
 内容：プロジェクト概要や今後の展開について（日本財団・厚生労働省）意見交換会
 派遣者：高嶋正博常務理事・宮本眞知子職員

VII 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市・札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会
 期間：2018年4月～2019年3月（年間2回開催）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数
1	2018年7月23日	9名
2	2019年1月21日	9名

時 間：15：00～17：00

出席者：札幌市：(障がい福祉課)松下由紀夫係長、西山洋平職員
 札幌市視聴覚障がい者情報センター：佐野孝道所長
 札幌手話サークル連絡協議会：菅原順子会長
 札幌手話通訳問題研究会：太田利実副運営委員長
 (公社)札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、
 高嶋正博常務理事、京野大樹法人事務局次長、亀田雅春職員
 内 容：①情報提供施設が行う事業について現況報告および意見交換を行った。
 ②災害時の情報提供施設の役割について意見交換を行った。
 ③情報センター備品の更新をお願いした。

VIII その他（会議等）

- ①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
 2018(平成30)年度総会及び第14回(通算26回)施設大会
 日時：2018年6月14日（木）～15日（金）

場所：コラッセふくしま（福島）

内容：1日目 13：00～14：15 2018年度総会
15：00～18：30 第14回大会（式典・講演・シンポジウム）

講演・シンポジウム

「情報提供施設におけるICT活用した聴覚障害者への情報提供」

①講演「聴覚障害者と情報通信技術の動向について」

講師：井上正之准教授（筑波技術大学坂井応技術学部産業情報学科）

内容：1. 遠隔通訳（手話・文字）について

2. 電話リレーサービスについて

3. 音声認識について

②シンポジウム：コーディネーター 小野康二氏

シンポジスト 厚生労働省、日本財団、全日本ろうあ連盟、
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

2日目 9：00～12：00 ブロック会議・全体会
第1ブロック（北海道・東北地区）

派遣者：高嶋正博常務理事（市の代理派遣）、渋谷梯子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会平成30年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2018年11月2日（金）10：00～15：30

場所：宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）

内容：①報告「スタートした電話リレーサービス事業」

報告者：札幌市（宮本）、宮城県（庄子）、福島県（渡辺）

各事業所から取組み状況、オペレーターの体制、依頼件数・内容、
困った事例、今後の課題、要望の報告。

②講演「電話リレーサービス事業の現状と課題」

講師：日本財団公益事業部 部長 石井靖乃氏

内容：日本財団電話リレーサービス・モデルプロジェクトからス
タートした事業の経緯から現在に至るまでの変遷の説明。

派遣者：高嶋正博常務理事・渋谷梯子課長・宮本眞知子職員

③カルチャーナイト2018に参加

日時：2018年7月20日（金）16：00～19：00

企画：①「手話・字幕付きDVD視聴コーナー」

手話・字幕付き映像の閲覧、聴覚障害者の日常生活用具展示、
テレビ電話体験

②「手話でGO！（ミニ手話教室）」

身体表現、手話で自己紹介

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、

ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行なった。

耳の日事業「第41回耳の日市民のつどい」

期日：2019年3月3日（日）

会場：北海道立道民活動センター（かでる2・7）

内容：記念講演「障害者が暮らしやすい社会をめざして

～障害者権利条約からみた国内の動きと運動の大切さ～

講師：藤井 克徳 氏（NPO法人日本障害者協議会代表）

アトラクション：寸劇「『手話言語条例』ってなに？」

来場者数：267名（一般 139名、会員 123名、高校以下5名）

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

公共施設や障害者関係・福祉関係の団体など、幅広く呼びかけを行った。

当日の記念講演では、近年の障害のある人をめぐる看過できない様々な事件や問題、そして1800年代後半から1900年代にかけて世界を覆った優生思想の実情を深く知り、共に生きる社会の実現を目指す障害者権利条約について学んだ。そして、誰もが暮らしやすい社会をめざすためにできることは“運動”であることを話された。

アトラクションを行い、手話言語条例に対する素朴な疑問に対し解説する映像を制作し、寸劇とあわせて上映した。

Ⅱ ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして行なった。

1. 文化祭典事業「第43回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2018年9月30日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

来場者数：約500名

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

テーマ：「手話の広がり はんばないって」

内容：

- ・センター内の各部屋を分担して使用した。体育館はステージや模擬店などを設置した。
- ・グルメコーナー（各区支部、各専門部、ほほえみ等）、フリーマーケット、デフフォトクラブ写真展、スポーツ・文化クラブの活動紹介、各手話サークルポスター、手話教室、手話通訳体験、健康相談、書籍販売など当協会事業及び活動の紹介を行なった。
- ・ステージでは、5人一組の各区支部対抗の伝言ゲームを行い、手話・指文字禁止のジェスチャーで答えが違ってくるのが面白く大いに盛り上がった。次に手話コーラス、寸劇・上映を行ない、最後にお楽しみくじを行なった。

2. 札幌ろうあ者文化祭実行委員会の開催

期間：2018年6月～10月（5回）

場所：市身体障害者福祉センター

回	月日	時間	内容
1	6月20日（水）	19：00～	どんな文化祭典にするか討議、 役割分担、バザー等の出店
2	7月18日（水）	19：00～	テーマ決め、企画、ステージでの催し タイムスケジュール、パンフレット案
3	8月29日（水）	19：00～	模擬店の内容、会場配置図、備品の扱い
4	9月25日（火）	19：00～	役割内容確認、注意事項確認、 配置図決め
5	10月17日（水）	19：00～	反省会

III 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

（1）公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会への参加

期日：2018年8月5日（日）

場所：北広島市ふれあい学習センター 夢プラザ

内容：午前の部：全日ろう連評議員会報告と運動の取り組み
全国ろうあ者大会研究分科会報告

午後の部：レクリエーション

（2）第21回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2018年10月7日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）

内容：「精神患を持つ聴覚障害者への就労支援として
当事者サポーターの持つ役割とは」

講師：稲 淳子 氏（精神保健福祉士）

（3）2018年度公益社団法人北海道ろうあ連盟合同研修会への参加

期日：2019年1月19日（土）～20日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）

内容：19日（土）第1講目『情勢と課題』

「全日ろう連」&「北ろう連」（運動の動き）&私たちの課題

講師：金原事務局長（全国について）

佐藤義典組織部長（北海道について）

第2講目『地域協会の情勢』参加者全員で話し合う

20日（日）第3講目『災害』

参加者から体験談を話し合っ課題をまとめた

『スポーツリーダー育成研修会』

講演「アンチ・ドーピングのために出来ること」

講師：加藤 信太郎 氏（北大学院 薬剤師）

（４）第19回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2018年7月29日（日）

場所：市教育文化会館

内容：全体テーマ「豊かな集団コミュニケーションをめざして
～聴覚障害児童生徒の集団形成と教育・福祉の連携～」

午前 第1部 講師：高井 小織 氏

（京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科）

（京都市の聴覚障害教育や地域社会、福祉との連携についてなど）

午後 第2部 講師：加藤 貴雄 氏

（社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会・
京都市聴覚言語障害センター・

京都聴覚障害児放課後等デイサービス「にじ」管理者）

（「放課後等デイサービス」の説明や聾学校・難聴学級等、親、聴覚障害者団体等との連携などについて）

2. 第11回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

（１）第11回札幌合同研修会の開催

札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催した。

期日：2018年12月1日（土）・12月2日（日）

会場：北海道立道民活動センター[かでの2・7]

参加者：188名(2日間)、150名(1日目講演会)、146名(2日目講演会)
50名(第1分科会)、67名(第2分科会)

内容：

1日目 開会式（北海道立道民活動センター[かでの2・7] 大会議室）

講演会 講演テーマ 「手話で暮らそう!!手話で生きよう!!」

講師 全日本ろうあ連盟常任理事兼事務局長
久松 三二 氏

2日目（午前）（北海道立道民活動センター[かでの2・7] 大会議室）

講演会 講演テーマ 「手話と歩む 石狩市のまちづくり」

講師 北海道石狩市市長
田岡 克介 氏

2日目（午後）分科会

第1分科会（北海道立道民活動センター[かでの2・7] 大会議室）

テーマ おもしろ企画「札幌協の歴史 おもしろゼミナール」

講師 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 理事組織部・青年部

第2分科会（北海道立道民活動センター[かでの2・7] 820研修室）

テーマ 実技講座「通じる手話表現パートⅣ」

講師 公益社団法人札幌聴覚障害者協会東区支部 佐々木 八代恵氏

助手 札幌手話通訳問題研究会 副運営委員長 太田 利実氏

閉会式（北海道立道民活動センター[かでの2・7] 大会議室）

（２）札幌合同研修会実行委員会の開催

期間：2018年2月～2018年12月

会場：市視聴覚障がい者情報センター、札幌市身体障害者福祉センター

時間：18：30～20：45

実行委員：「札幌協」

福島太郎理事(7回)、河村明子理事※職員兼務(5回)

美馬伸隆理事(4回)、眞鍋秀之理事※途中辞退(4回)

佐藤尚行職員(7回)

「札幌研」運営委員

回	月日	回	月日
1	2018年2月19日	5	2018年9月26日
2	2018年4月13日	6	2018年11月27日
3	2018年6月1日	7	2018年12月14日
4	2018年8月2日		

【組織部】

全日本ろうあ連盟久松事務局長より、「医学モデル」、「社会モデル」から、言葉は、社会のあり方によって生まれてくることが、手話言語条例、手話言語法の必要性についてお話して下さった。

もう一人は、石狩市長田岡氏であり、2018年3月6日、札幌市手話言語条例が制定されたが、自分たちはどう取り組むべきか？石狩市同条例が施行されてから5年目になり、その成果と課題はどんなものか？学ぶことができた。

2つの分科会に分かれ、手話実技、クイズを通して深く学ぶことができた。第11回合同研修会の呼び掛けは、紙媒体だけでなく、動画でも呼び掛けを行った。

来年度以降も動画等、視覚的にわかりやすく周知して参りたい。そうすれば、他の人に説明しやすくなり、誘えるようになるだろう。

IV 「H S K札幌障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K札幌障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K札幌障」を発行した。

期間：2018年4月～2019年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：700部

対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2018年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	札幌市手話言語条例が成立！！
5月号	韓国（大田）・タイから視察 公益社団法人札幌聴覚障害者協会の取り組みがアジアまで広がっています！
6月号	「社会参加を促進するために」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会第8回定時社員総会を開催

7月号	第66回全国ろうあ者大会in大阪
8月号	8月1日 電話リレーサービス事業スタート 聞こえない人と“電話”のかけ橋に
9月号	第43回札幌ろうあ者文化祭典 みんな集まろう♪ おいでよ～この場所に～!
10月号	北海道胆振東部地震(9月6日(木)午前3時8分) 北海道全域がブラックアウト!情報がない!
11月号	第43回札幌ろうあ者文化祭典 手話で楽しく過ごした1日に
12月号	韓国ろうあ者協会 テジョン広域市協会が来札! 札幌市で協定締結式を実施
1月号	「迎春」 2019年イノシシの年に
2月号	2019年新年交礼会 みんなで共に暮らせる地域社会を作っていこう
3月号	2018年3月6日 札幌市手話言語条例が成立、公布、施行から1年 札幌の街は変わったのか?

【広報部】

- ・電話リレーサービスの使い方を3回に分けて掲載した。
- ・新年号を除き、毎月、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の行事呼びかけや報告を掲載した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新して聴覚障害者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

引き続きワードプレス(ブログ投稿用ソフト)を活用して更新してきた。ろう者も見ていることから、YouTube(ユーチューブ)を活用した。

投稿した動画

- ・札幌市中級講習会・手話通訳者養成講座アピール動画(約100回)
- ・中級手話教室動画PR(90回程度)
- ・札幌合同研修会

2. 札幌協情報メール

メール配信の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

2018年度発信数: No. 750~808 58件

※登録者数: 正会員 94名・賛助会員 48名

2018年9月6日に発生した胆振東部地震により情報提供のため、14件を送信しています。

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2018年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		971冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		538冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう（入門・基礎・手話通訳）		395冊
② わたしたちの手話学習辞典 I・II		90冊
③ 聴さんと学ぼう！		53冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		320冊
① 2018年手話カレンダー 大		122枚
② 2018年手話カレンダー 小		180枚
③ 北海道の手話		18冊
3) その他団体等発行書籍		113冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.6・5・4	全国手話研修センター	97冊
② みるみる日本語大航海	全国聴覚障害教職員	17冊
II 札幌聴覚障害者協会制作販売		1207冊
さっぽろの手話（改訂版・三訂）		1038冊
さっぽろの手話（医療編）		70冊
さっぽろの手話（販売・接客編）		14冊
さっぽろの手話DVD		85枚

講習会の人数の減少や手話辞典の伸び悩みが書籍の売り上げ増につながらない原因になっている。辞典に関してはほとんどの手話学習者が持っており、なかなか売り上げにつながらない。

課題としては、各手話辞典の売上が伸び悩んでいるため、札幌市手話講習会等で積極的なPRをお願いすることを再度検討している。さらに、仕入過多にならないよう工夫する。札幌協独自の新しい書籍等の発行、読み取り教材のDVDの要望も多いのでそれらを視野に入れ、売上増加に向けて検討する。

2. 2018年度出版物対策研究会議・第29回全国専従職員研修会

日程：2018年9月6日（木）～8日（土）

会場：ホテルニュー塩原

参加者29名

1日目（9月6日）

①開会式・オリエンテーション

②「協会独自出版物コンテスト」 協会独自の出版物のプレゼンテーションで、書籍担当者及び協会の方がそれぞれ持ち時間5分間で発表。

札幌は、さっぽろの手話・医療編・接客編の3種類を紹介。
 福島→うちわを使用してPR、東京→東京の駅名の書籍を作成、静岡→大
 学・専門学校専用のテキストを作成、他地域は地元の手話の本を作成。

③「出版物等の上手な宣伝方法について」グループ討議。

④各協会自慢の「機関紙・POP紹介」

2日目（9月7日）

①午前：講演「野菜を楽しみもっと健康に」

講師 キューピー株式会社 CSR部 食育推進チーム

②午後：野外研修 「牧場散策」→「那須お菓子の城」→「藤城清治美術館」

3日目（9月8日）

講演「ストレス対策とメンタルヘルスについて考える」

講師 舘脇 千春氏（ろう者）

（（公社）日本精神保健福祉士協会 認定精神保健福祉士）

派遣者：高嶋正博常務理事、杉山恭子職員

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。（2018年度）

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・コーラ・PS	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	PS	18	厚別南地区センター	厚別	ジャパン
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	ジャパン
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	ジャパン
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	ジャパン
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	ジャパン
9	市社会福祉総合センター（3カ所）	中央	キリン	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	ジャパン
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール（2カ所）	豊平	キリン	28	すみかわ地区センター	南	PS
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設	東	ジャパン

				(つどーむ)		
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい者情報センター	中央 麒麟・大沼
16	はっさむ地区センター	西	麒麟			

※麒麟=麒麟ビバレッジ、大沼=サントリー、コーラ=コカコーラ、
P S = P S ビバレッジ、ジャパン=ジャパンビバレッジ

2018年度は社会福祉総合センターの工事の影響、また、北海道胆振東部地震の影響で補修工事のため、平岸プールが休館したことにより、売り上げの減収につながった。

新中央体育館に設置のお願いをするも、競争入札制度がある等の都合から、設置を断られてしまった。

【収3】 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

地域密着型通所介護事業及び介護予防通所介護事業

(介護保険・介護予防指定事業) ※指定開始日 2014年6月1日

2017年3月31日以降事業休止。

II ヘルパーステーションほほえみ白石

① 居宅介護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2014年7月1日

② 訪問介護事業 及び 第1号訪問事業

(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活支援総合事業)

※指定開始日 2014年9月1日 (第1号訪問事業は2018年4月1日)

③ 移動支援 (札幌市地域生活支援事業)

※指定開始日 2014年10月1日

④ 同行援護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2015年4月1日

⑤ 重度訪問介護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2015年4月1日

期間：2018年4月～2019年3月 (年間) 場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者の意思および人格を尊重し、支援計画に基づいたサービスを実施した。手話のできるヘルパーを派遣し、利用者に合ったコミュニケーションを保障しながら、以下の支援を行った。

(1) 居宅介護事業

障害のある人の自宅に訪問し、身体介護や家事援助、各種相談・助言、

また通院介助等を行い、住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることができるように支援する一方、家族などの介護の負担の軽減を図った。

(2) 訪問介護事業及び第1号訪問事業

要介護・要支援状態にある人が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者宅に訪問し身体介護や家事援助を行なった。

(3) 移動支援

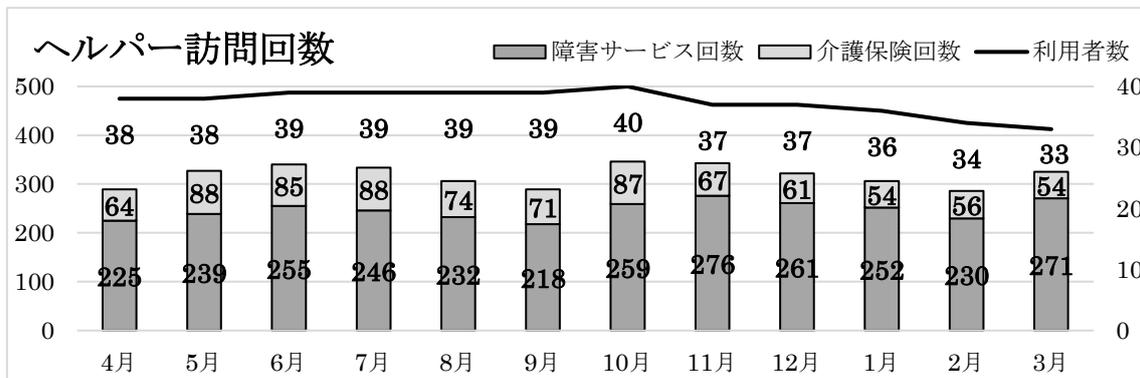
1人では外出困難な障害者（児）が、社会生活上必要不可欠な外出、及び余暇活動や社会参加のための外出の際に、移動の支援や身の周りの介護等を行なった。

(4) 同行援護事業

視覚障害者の外出（通院や社会参加、余暇活動など）に同行し、情報提供（代筆・代読を含む）や身体介護、その他外出に必要な支援を行なった。

(5) 重度訪問介護事業

重い障害がある人の自宅へ訪問し、居宅における身体介護や家事援助等生活全般にわたる援助を行なった。



【2018年度訪問回数内訳】

	障害福祉サービス							介護保険		合計
	居宅介護			同行援護	重度訪問介護	移動支援	受託居宅介護	訪問介護	総合事業	
	身体介護	家事援助	通院介助							
4月	43	37	10	32	8	30	65	23	41	289
5月	48	40	10	35	7	36	63	46	42	327
6月	50	40	11	37	9	38	70	47	38	340
7月	51	41	10	38	8	33	65	48	40	334
8月	45	40	12	33	9	24	69	44	30	306
9月	44	35	10	29	8	30	62	45	26	289
10月	51	39	11	35	9	36	78	56	31	346
11月	62	41	14	34	8	33	84	44	23	343
12月	56	40	12	33	8	27	85	42	19	322
1月	60	38	13	22	7	32	80	34	20	306
2月	47	30	10	23	8	34	78	32	24	286
3月	53	40	13	26	9	40	90	32	22	325

計	610	461	136	377	98	393	889	493	356	3813
---	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	------

2. 利用者の状況

【居住区別】

※白石区に障害・介護併用1名

	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
障害福祉	12	3	0	1	0	0	1	2	3	1	23
介護保険	10	5	1	2	1	1	0	1	1	0	22
小計 人	※21	8	1	3	1	1	1	3	4	1	※44

【要介護度・障害区分別】

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	7	6	5	3	0	1	0	
障害区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	その他	計
	1	5	6	5	1	2	3	

3. 職員等体制（2019年3月31日現在） 計10名

常勤 4名	管理者 兼 法人事務局長 1名 サービス提供責任者 兼 訪問介護員 2名 訪問介護員 兼 ほほえみ手稲介護員 1名
非常勤 6名	訪問介護員 6名 ※うち登録ヘルパー 5名

4. 今年度の成果・反省

- (1) ケアマネや相談員、ろう相、関連事業所との情報共有を密に行い、生活上の問題点を共有して支援し、生活の改善に貢献できた。
- (2) サービス提供責任者を2名体制とし、業務の分担を行なった。また、新たに登録ヘルパーを2名採用し、新規利用者の受け入れや訪問の増回の要望に対応することができた。
- (3) 2018年度は新規で6件（いずれも聴覚障害者）の契約を結び、支援を開始している。その他にも利用希望の依頼が9件あったが、人員不足で希望日時の訪問に添えないために断らざるを得ない状態だった。
- (4) 来年度は更に人員不足が予想されることから、数名の利用者に来年度以降の訪問回数の縮小やサービス提供の終了をお願いしている。死亡や医療施設入所なども併せると、2018年度で14件が利用終了となる。
- (5) 11月に登録ヘルパー1名が登録終了、3月末でサービス提供責任者1名が退職するため、ヘルパー不足の課題は解消されていない。来年度からは再びサービス提供責任者1名の体制で行う。ヘルパーの募集も継続し、利用者の要望に対応できる体制を作りたい。

Ⅲ サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期 日：2018年4月～2019年3月

場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設

提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2019年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
当月退去数(人)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
入居戸数計(戸)	20	19	19	19	19	20	20	20	20	20	19	19
入居者数計(人)	23	22	22	22	22	23	23	23	23	23	22	22

2. 入居者状況（2019年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	98歳～	男	女
人数	1	4	15	2	83.36歳	68歳	11	11

【要介護度別】 *平均要介護度：要支援2.59

要介護度(人)	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	3	5	3	4	4	0	3	0	

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	5世帯	単身世帯	12世帯
------	-----	------	------

3. 職員等体制（2019年3月31日現在） 計20名

常勤兼務 4名	所長兼生活相談員 1名 生活支援員 3名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 5名	生活相談員 1名 生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト 10名	食事準備・片付
有償ボランティア 1名	食事の片付

4. 点検、修理、工事、防災対策等について

(1) 8月（総合）と2019年2月（通報・避難誘導）に消防訓練を行った。

在館者数の確認は事務室内常設のホワイトボードに各自の名札を貼ること
とで、大幅に改善された。避難誘導等の手順を定めた「アクションカード」
の作成を進めており、適宜改変し、職員間で共有、徹底に今後も努め、地域
住民との連携、ネットワーク強化を図っていききたい。

(2) 消防訓練の実施に合わせ、消防設備点検を行った。

居室内設備を入居者が適切に使用するよう、個別に対応が必要な例があり、
都度、説明を行っており、今後も継続したい。

(3) 消防設備、エレベータ、その他建物の設備は、点検結果を定期的に行政
に報告する義務があり、点検費用が発生する。他にも冷暖房設備や厨房設
備など、定期的に点検が必要な設備が多数あり、そのための費用の貯えも
必要である。

5. 今年度の成果・反省

(1) サ高住と併設の小規模多機能型居宅介護、双方のサービス、利用方法等
の整理は職員間での協議を積み重ね、改善されつつある。介護サービスを
利用していない入居者へのサービス提供については、曖昧な点もあり、引
き続き整理を進めていきたい。

(2) 入居者の逝去があり、病院との連携の仕方等ネットワークづくりの重要
性を痛感した。関係専門機関等との連携、職員のスキルアップに努めてい
きたい。

(3) 近隣地域との関わりについて、昨年度同様の関わりはあるものの、連携
強化にはあまり取り組めなかった。入居者の外出機会の増加を検討すると
ともに、地域のネットワークづくりにも努めたい。

IV 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入
居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び
介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40㎡

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況について

【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	19	19	17	17	18	18	20	19	19	18	19	19
登録率(%)	79	79	71	71	75	75	83	79	79	75	79	79
新規	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
再開	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
休止	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
終了	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

【登録終了者の状況等】 (2019年3月31日現在)

区分	施設入所	入院	その他	計
人数(人)	1	1	0	2

2. 登録者の状況 (2019年3月31日現在)

【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	0	0	1	17	0	0	0	0	1	19

【要介護度別】 *平均要介護度：要介護1.52

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
(人)	5	3	4	4	0	3	0	19

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	98歳～	男	女
人数	1	2	14	2	83.6歳	68歳	7	12

3. サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	205	204	9	418	5.0
5月	414	1,240	10	1,664	19.7
6月	522	1,402	4	1,928	26.4
7月	550	1,333	5	1,888	25.0
8月	505	1,470	4	1,979	24.8
9月	495	1,492	4	1,991	25.8
10月	498	1,516	5	2,019	22.7
11月	475	1,454	4	1,933	23.7
12月	397	1,494	6	1,897	22.5
1月	279	1,507	4	1,790	23.7

2月	415	1,390	5	1,810	23.8
3月	426	1,555	10	1,991	23.5
計	5,181	16,057	70	21,308	22.2

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のみ

4.（介護予防）小規模多機能型居宅介護（短期利用型）

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものであるが、2018年度の利用実績はなかった。

5. 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2018年4月～2019年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

料金：

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	
2kmから500m毎	プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離(km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	0	0.0	0	0	0
5月	0	0.0	0	0	0
6月	21	24.7	18	2	1
7月	28	58.5	23	5	0
8月	18	38.2	14	3	1
9月	21	58.3	16	5	0
10月	24	73.7	18	4	2
11月	27	68.4	21	5	1
12月	17	33.9	16	0	1
1月	32	73.5	27	4	1
2月	19	30.4	16	1	2
3月	23	35.7	21	2	0
計	230	495.3	190	31	9

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2018年4月～2019年3月（年間6回開催）

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：ご利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月 9日	第1回運営推進会議	事業報告・職員の状況・行事報告・意見交換
7月11日	第2回運営推進会議	事業報告・行事報告・年間行事計画・意見交換
9月12日	第3回運営推進会議	事業報告・アンケートの結果報告・地震発生時の状況報告・意見交換
11月14日	第4回運営推進会議	事業報告・防災について・意見交換
1月23日	第5回運営推進会議	事業報告・今後の予定・意見交換
3月13日	第6回運営推進会議	事業報告・行事報告・外部評価・意見交換・翌年度の開催日程の確認

※年6回開催、奇数月に開催

7. 職員体制（2019年3月31日現在） 計14名

常勤 6名	管理者 兼 介護職員 1名 計画作成担当者 兼 介護職員 1名 介護職員 4名（内、ほほえみの郷生活支援員と兼務3名）
非常勤 8名	看護職員 2名 介護職員 6名（いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務）

8. 今年度の成果・反省

- (1) 2018年4月より登録定員を18人から24人に変更し、登録者数の平均は18.5人だった。要支援1・2の割合が4割と多く、収支はきびしい状況にある。次年度は、取得加算の見直し、新規利用者の獲得、同一法人内の他の事業所との連携により収支の改善を図りたい。
- (2) 業務内容の整理や職員ごとの役割（担当制）をもち運営することができ、職員同士の連携が取れるようになった。次年度は、チームケアに重点をおき、研修への参加や介護マニュアルの作成等に取り組み、利用者が安心して「その人らしく」暮らし続けていけるよう支援したい。
- (3) 町内会・地域包括支援センター・札幌協手稲区支部・手話サークル等のご協力のもと年間6回の運営推進会議を実施することができた。また、地域や関係団体の行事などへの参加、見学者やボランティア、職場体験実習等を積極的に受け入れることで世代間交流や地域交流となり、利用者も大変喜んでおられた。今後も家族との関係づくりと、地域の方々が当施設を身近に感じてもらえるような取り組みを考えていきたい。
- (4) 看護・介護職員の退職が2名あった。引き続き「この職場で長く働きたい」と思える環境、体制づくりを考えていきたい。

V 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況 (2019年3月31日時点)

	介護支援専門員	介護福祉士	ヘルパー2級等	正看護師	無資格
常勤	2	6	3	0	0
非常勤	0	2	3	2	1
登録	0	1	4	0	0
計	2	9	9	2	2
その他 主な 保有資格	社会福祉士、手話通訳士、精神保健福祉士、全身性障害者移動介護・行動援護・同行援護従業者、サービス管理責任者、認知症対応型サービス事業管理者、小規模多機能型サービス等計画作成担当者、他				

2. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外部 研修	4月12日	福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習	3
	5月8日	福祉車両安全運転講習会	1
	5月11日	福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習	2
	5月12日	札幌協職員研修 「札幌協のろうあ運動と事業発展」	6
		「協会とは～基本理念」 「四事業部門の業務趣旨と取り組みについて」	6
	6月12日	認知症の理解	1
	7月10日	バリデーション	1
	7月18日～20日	聴覚障害者関係施設等新人職員研修	1
	8月10日	認知症ってなんだろう？(認知症サポーター講座)	13
	8月23日	新任介護職員研修	1
	9月6日	認知症ケアスキルアップ	1
	9月20日	リスクを回避する業務改善と再発防止策	1
	9月26日	アンガーマネジメント研修	1
	10月16日～17日	認知症対応型サービス事業管理者研修	1
	10月23日	ポジショニングと体位変換	1
	11月1日	生活における薬の影響と調整	1
	11月9日～10日	同行援護従業者養成研修 (一般課程)	1
	11月10日	スキルアップ研修 (気持ちの切り替え方・自立支援の引き出し方)	1
	11月30日	介護労働者雇用管理責任者講習 (総合コース)	1
	12月15日	札幌協職員研修 「災害発生時の地域での支え合い」	5
12月21日	介護労働者雇用管理責任者講習 (安全衛生・健康管理)	1	
	介護労働者雇用管理責任者講習 (人事管理)	1	
1月25日	サービス提供責任者講習	1	

内部研修	1月31日	介護記録の書き方	1
	2月21日	介護労働者雇用管理責任者講習（賃金管理）	1
		介護労働者雇用管理責任者講習（労働時間管理）	1
	3月5日	介護のための医学の基礎知識	1
	5月18日	インフルエンザについて	10
		肝炎について	10
	6月22日	5/12札幌協職員研修（DVD研修）	5
		便秘について	10
	7月21日	5/12札幌協職員研修（DVD研修）	8
	7月27日	施設見学	4
	8月18日	ヘルパーの倫理綱領について	8
	10月20日	アングーマネジメント研修	5
	10月26日	盲ろう者のくらし	11
11月16日	来客・電話対応マナー	12	
11月17日	スキルアップ研修 （気持ちの切り替え方・自立支援の引き出し方）	6	
	ノロウイルスと嘔吐物処理について	11	

3. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参 加	内 訳			
				手稲	郷	職員	他
4月6日	開設1周年記念	ほほえみの郷	38	1	22	11	4
4月18日	買い物レク	発寒イオン	6	4	/	2	0
4月19日	買い物レク	ニトリ・とんでん	5	3	/	2	0
4月20日	買い物レク	発寒イオン	5	3	/	2	0
4月20日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	20	9	3	4	4
4月21日	買い物レク	しまむら・アークス	4	2	/	2	0
4月24日	ほほえみ健康学習会 その姿勢、大丈夫？	ほほえみの郷	25	10	5	5	5
5月15日	散歩・お花見	あおぞら公園	12	8	1	3	0
5月25日	外出レク・お花見	前田森林公園	18	9	2	7	0
5月29日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	17	9	2	1	5
6月6日	お料理レク	ほほえみ手稲	14	9	/	5	0
6月17日	DVD鑑賞会	ほほえみ手稲	14	9	2	3	0
6月29日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	24	13	4	3	4
7月3日	手話サークルていね参加	手稲区民センター	4	0	3	1	0
7月8日	ほほえみ祭り参加	身障福祉センター	30	15	6	7	2
7月22日	テレビビデオ班	ほほえみ手稲	21	14	0	4	3
7月27日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	16	11	0	2	3
7月31日	買い物レク	発寒イオン	4	2	/	2	0

8月3日	買い物レク	発寒イオン	8	5	/	3	0
8月7日	買い物レク	発寒イオン	2	1	/	1	0
8月10日	消防訓練	ほほえみの郷	29	14	4	11	0
8月10日	認知症学習会	ほほえみの郷	32	15	4	13	0
8月24日	納涼祭	ほほえみの郷	36	16	3	12	5
8月28日	外出レク(水族館)	おたる水族館	12	7	/	5	0
9月3日	外出レク(水族館)	おたる水族館	11	6	/	5	0
9月14日	敬老会	ほほえみの郷	24	14	3	7	0
9月14日	韓国手話教室	ほほえみの郷	23	11	3	5	4
9月28日	日帰り旅行(果物狩り)	(余市) 山田園	23	12	3	8	0
9月30日	文化祭典参加	身障福祉センター	25	15	3	6	1
10月7日	テレビデオ班	ほほえみの郷	15	12	0	3	0
10月16日	買い物レク	ウイングベイ小樽	5	3	/	2	0
10月18日	買い物レク	ウイングベイ小樽	5	3	/	2	0
10月19日	買い物レク	ウイングベイ小樽	8	4	/	4	0
10月19日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	14	8	0	2	4
11月6日	ハンドトリートメント	ほほえみの郷	25	14	1	4	6
11月10日	手話サークルやまびこ交流	ほほえみの郷	20	9	2	2	7
11月30日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	24	14	3	3	4
12月18日	買い物レク	西友手稲店	5	3	/	2	0
12月19日	買い物レク	イオン発寒店	5	3	/	2	0
12月20日	買い物レク	西友手稲店	6	4	/	2	0
12月21日	買い物レク	西友手稲店	2	1	/	1	0
12月21日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	16	11	0	2	3
12月24日	クリスマス茶話会	ほほえみの郷	16	10	1	2	3
12月28日	お餅つき	ほほえみの郷	19	11	2	5	1
1月25日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	17	9	1	3	4
2月1日	節分「恵方巻きづくり」	ほほえみの郷	29	16	5	6	2
2月8日	消防訓練	ほほえみの郷	24	16	2	6	0
2月25日	買い物レク	しまむら	4	2	/	2	0
2月26日	買い物レク	ウイングベイ小樽	6	4	/	2	0
2月27日	買い物レク	発寒イオン	4	2	/	2	0
3月1日	ふまねっとで健康づくり	ほほえみの郷	28	13	3	8	4
3月4日	お菓子づくり	ほほえみ手稲	13	9	/	4	0
3月22日	ボランティア「とも」	ほほえみの郷	16	9	0	2	5

4. 見学対応 (ほほえみの郷・ほほえみ手稲)

個人、団体問わず、見学の問い合わせに対応した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人(件)	2	2	2	1	2	3	1	2	3	1	2	1	22

団体等(件)	4	1	0	0	1	1	1	2	0	1	1	1	13
人数	26	5	10	2	8	47	4	35	3	5	5	5	155
主な受け入れ団体等 ・4月16日 タイ王国国民立法議会(社会・青少年・婦人・高齢者身障者委員会) ・8月7日 山形県議会議員 ・9月24日 江戸川ろう者協会 ・3月13日 世田谷区聴覚障害者協会													

5. 取材等対応 (ほほえみの郷・ほほえみ手稲)

新聞社等からの取材依頼に対応した。

- ・2018年4月～2019年3月：4社(延べ6回対応)
- ・主な受け入れ：NHK札幌放送局、北海道新聞社、北海道医療新聞社(介護新聞)

6. その他

- ①毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載、発信した。(計11回)
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。(計4回)
- ③職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。(年1回)
- ④2018年9月に発生した地震の影響で、利用者の安否確認が困難であったこと、ライフライン断絶時の施設の運営維持等、災害発生時の対策が課題となった。

VI さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2018年4月～2019年3月(年間3回開催→2回実施)

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2018年5月25日(金)	8名	3	2019年1月25日(金)	11名
2	2018年9月7日(金)	中止			

時間：19：00～20：45

委員名簿：

札幌手話サークル連絡協議会：(役員交代により2018年度のみ委嘱)

堀井淑副会長、那須美枝子広報部長

札幌手話通訳問題研究会：中村雅子事務局長、宮本ゆかり広報部次長

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子事業部長、三澤美紀子会計部長

(公社)札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、森恵子理事

担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長、

小山内孝子ヘルパーステーションほほえみ白石主査

中村千恵小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲所長

内容：センター事業(ヘルパーステーション、サ高住、小規模多機能型居宅介護)の現況報告および意見交換を行った。

※北海道胆振東部地震の影響により第2回(9/7)の事業運営委員会を中止した。

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：：月1回のうち5、1月は休み。第1火曜日開催。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

①札幌聴覚障害者協会会員数

	2018年4月1日	2019年3月31日	増減	備考
正会員	427名	411名	- 16	入会11名・退会27名 ※退会理由：市外転出、自己都合、その他
賛助	71名	71名	0	

②区別会員数

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	21	82	86	41	34	33	10	17	42	45		411
賛助	5	6	11	4	4	3	1	5	17	9	6	71

③年代・性別別会員数（正会員）

(単位：名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	2	9	21	21	34	72	52	15	1	227
女性	1	9	14	20	40	47	39	12	2	184

④H S K札幌聴障購読者数（有料購読者）

	2017年4月1日	2018年3月31日	2019年3月31日	増減
市内	105名	99名	93名	-6
市外	40名	39名	36名	-3
道外	2名	2名	1名	-1
合計	147名	140名	130名	-10

⑤日本聴力障害新聞購読者数（札幌市内）

2017年3月31日	2018年3月31日	2019年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数：20名
232名	213名	230名	+17	

⑥季刊MIMI購読者数

2017年度	2018年度	増減
31名	29名	-2

【組織部】

① 専門部会議について

日本聴力障害新聞購読者拡大目標20部に向けて毎年3月から6月まで取り組んでいる。年間サイクルとして、10月～12月に札幌の拡大強化期間

としての取り組んだ結果、拡大につながらなかった。2018年9月から12月は、協会事務局への購読申込者がゼロであったことから、今後も8月までは会費納入促し、9月から12月は、日本聴力障害新聞、MIMI（ミミ）、手話研修センター後援会員それぞれの拡大取り組みを定着化させていきたい。

サービス付き高齢者専用向け住宅「ほほえみの郷」への寄付運動（2016年9月～2019年9月まで三年間）を各区支部と手話サークルが合同で展開していけるように協議を重ね、全体的に1000万円のうち、約200万円（20%）まで集まった。各区支部のご協力に感謝したい。2019年9月で終了するが、ほほえみ後援会員を拡大していくことと、自己資金強化（事業の赤字を減らす、事業を担える人材を育成する）が根本的な解決につながる。

(2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

区支部	行事事業名				
中央	8月4日 ビアガーデン交流会		12月8日 忘年会		
北	9月2日 野外交流会		2019年1月6日 新年会		
東	6月10日 パークゴルフ& 野外交流会	7月28日 元町 夏祭り	7月 フアカーリング 交流会 (中止)	11月11日 東区手話 まつり	12月2日 クリスマス会
白石	7月22日 野外交流会		9月30日 忘年会		
厚別	5月13日 春の親睦会	7月27日～28日 厚別区民祭り	12月8日 忘年会	2019年1月27日 ボーリング交流会	
豊平	6月24日 大倉山へのウォーキング			12月3日 合同忘年会	
清田	6月16日 滝野へ行こう会		12月8日 忘年会		
南	7月15日 バーベキュー交流会		12月8日 合同忘年会	12月23日 クリスマスバザー交流会	
西	7月15日 野外交流会 (中止)		12月8日 クリスマス会		3月17日～18日 温泉交流会
手稲	7月15日 野外交流会	9月16・17日 手稲神社祭出店	10月1日 日帰りバスツアー		12月16日 区長杯ボーリング 大会&忘年会

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

2018年6月16日	ダベリ場① 「バーベキュー交流会」	25名
10月6日	三部交流会「ボッチャを体験しよう！」	23名
10月8日	ダベリ場② 「ボウリング交流会」	20名
12月23日	全青研報告会&クリスマス会	32名
2019年3月8日	ダベリ場③「講演会&交流会」	23名
3月21日	定期総会	15名

②青年部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

計画通り、事業を進めることができました。非会員にも呼びかけ、参加されました。入会まではいきませんでしたでしたが、青年部活動に興味を持つ方もいました。

青年部活動の運営資金作りのため、「ミニノート」や「メモ帳」などグッズやコーヒーの販売を行いました。各団体の温かいご支援ご協力のおかげで、円滑な活動ができました。

来年度も引き続き、活動を頑張っていきます。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

2018年4月15日	創立45周年記念交流会 すみれホテル	60名
8月23日	第31回がん検診（がん検診センター）	11名
10月6日	三部交流会「ボッチャを体験しよう！」	23名
11月3日	茶会話（全国ろうあ助成集会報告） 研修会「おくりびと」	13名 16名
2019年3月31日	定期総会	

②女性部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

③社会生活教室：2回「エンディングノート」
「認知症の理解を深めよう」

2018年は創立45周年事業もあり、役員一同新たな気持ちでスタートし、ひとつひとつ事業を進めてきた1年間でした。

課題となっている後継者育成は残ったままですので、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

会議は、負担を軽減するために、役員会議と各区部長会議を隔月で開きました。

(3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日程	事業名	場所	参加人数
6月16日	第16回パークゴルフ交流会	丘珠空港P G場	20名
7月18日	社会見学会（恵庭・栗山）	ヒナタクーズ(株)	31名
10月6日	三部交流会 「ボッチャを体験しよう！」	身障福祉センター	23名
11月3日	高齢部創立30周年記念式典	身障福祉センター	84名
2019年 3月31日	第12回高齢部総会（代議員）	市視聴覚障がい者 情報センター	

②高齢部役員会：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

【参考】

1月30日北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会

出席代議員

沼澤一夫・佐藤英治・佐々木昌美・谷水みさ子・谷水岩男・吉田雅敏・森良一・守屋弘之。

役員選挙の結果、佐々木昌美氏監事に。（2019～2021）

3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

<2018年度手続き件数>

(単位：件)

①結婚祝金	1	⑤銀婚祝金	1
②入学祝金	1	⑥入院見舞金	5
③長寿祝金	3	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	3
		合計	14

②会員ポイント制度

ポイントカードを正会員一人ひとりに配布し、ポイントの受付を行った。

4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動が続けようと親睦と交流をかねて開催した。

「2019年新年交礼会」開催

期日：2019年1月5日（土）18：30～20：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会費：1,500円

参加人数：131名

II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 3クラブ			
デフフォトクラブ	写真	畠山 均	17名
札幌ろうあ劇団舞夢	手話劇	高橋 淨	7名
札幌デフ麻雀倶楽部	麻雀	今野 整	44名
＜スポーツ系＞ 6クラブ			
S. R. B. C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	原 健太	21名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	17名
札幌ろうあパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	30名
札幌男子バレーボールクラブ	バレーボール	瀬能 優佑	9名
札幌ろうあフロアカーリングクラブ	フロアカーリング	富沢 房雄	21名
札幌デフカーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	8名
＜性別・年齢別系＞ 1クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	79名
＜福祉系＞ 1クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	49名

※S. D. F. C（札幌デフフットボールクラブ）、札幌ろうあゲートボールクラブ、札幌デフソフトバレーボールは、会員5名以下のため、対象外。

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第7回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2018年度助成金交付クラブ：デフ・フォトクラブ、男子バレーボールクラブ、S. D. F. C（札幌デフフットボールクラブ）

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

（1）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第51回全道ろうあ者夏季体育大会」

テーマ：「キラキラ輝く名寄に集いヒマワリのような花を咲かせよう！」

期日：2018年6月22日（金）～6月24日（日）

場所：名寄市

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：上川北部聴覚障害者協会

＜種目別参加人数(札幌)＞※重複参加有 (単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
----	------	----	------

ボウリング	16	フットサル	(中止)
バドミントン	7	ソフトバレーボール	5
パークゴルフ	24	フロアカーリング	7
		合計	89

(2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第52回全国ろうあ者体育大会」

期日：2018年9月20日（木）～23日（日） 場所：埼玉県

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

第52回全国ろうあ者体育大会実行委員会

<種目別参加人数(札幌)> (単位：名)

種目	参加人数
ボウリング	5
バドミントン	4

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

「第18回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会」

期日：2018年6月24日（日）

場所：福島県二本松市

主催：文部科学省

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

主管：一般社団法人福島県聴覚障害者協会

参加チーム：札幌男子バレーボールクラブ（9名）

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2018年4月～2019年3月（年3回会議開催）

会場：市体障害者福祉センター

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

(1) クラブ代表者会議

回	月日	時間	主な内容	参加クラブ数
1	2018年4月7日	18：30～20：30	総会	10クラブ
2	2018年10月26日	19：00～20：30	クラブ助成金交付、 クラブの報告、 課題による意見交換	6クラブ
3	2019年1月25日	19：00～20：00	クラブ助成金、 クラブの報告他	10クラブ

(2) 運営会議

回	月日	時間	主な内容	参加人数
1	2018年5月25日	19：00～20：30	2017年度の課題確認	4名
2	2018年8月5日	17：00～19：00	クラブ助成金支給確認等、課題による意見交換	4名
3	2019年3月22日	19：00～20：30	課題による意見交換 総会の打ち合わせ	5名

(3) クラブ代表者会議加入クラブ (2019年3月31日現在)

①文化系3クラブ ②スポーツ系6クラブ

【クラブ支援部】

クラブ運営委員会の規約の基づいて、会員数が規定（5名以上）に達していないため、スポーツ系の3クラブに活動助成金は出していません。

各種体育大会出場に消極的な会員、経済面などの理由により積極的にしない若い会員が増えている状況です。

各クラブからの報告について意見交換・情報交換を行ない、2019年度にむけて継続していきたいと思います。

各クラブ会員から積極的に他の団体及び聞こえる仲間のクラブとの交流を深めています。

Ⅲ 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施

5年に一度の開催のため、実施せず。今回は札幌市において、2020年に開催予定。

※事業名の変更

『国際友好交流事業の実施』

【変更理由】 2018年11月7日に韓国ろうあ者協会大田広域市協会と交流協定書を締結した。今後の国際交流の推進を考慮し、事業名を変更する。

【他2】各種大会への協力及び支援事業

2018年度の事業なし。

【法人関係事業】

法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
 キリンビール（株）のご協力のもと、夏祭り福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。
- 期間：2018年7月20日（木）～8月15日（火）
 会場：大通公園西7丁目（キリンビール）
 販売枚数：6,200枚（2017年度同数）

- II 韓国ろうあ者協会テジョン広域市協会との協定締結式及び交流事業
1. 韓国ろうあ者協会テジョン広域市協会（大田ろうあ者協会）と
 打合せ・施設見学
 期日：2018年4月26日（木）～27日（金）
 訪問者：大田ろうあ者協会3名

2 協定締結式・交流会

9月19日（水）～22日（土）の予定で準備をしたが、北海道胆振東部地震（9月6日）により、延期して実施した。

期間：11月7日（水）～10日（土）

訪問：大田ろうあ者協会24名、大田国際交流センター2名

内容

11月7日（水）	協定締結式・講演会（わくわくホリデー第1・2会議室） 歓迎会および交流会（竹取御殿 札幌すすきの店）
11月8日（木）	見学（札幌市視聴覚障がい者情報センター・ほほえみ作業所・ほほえみカフェ・ほほえみの郷） 札幌市長表敬訪問
11月9日（金）	（札幌市観光）
11月10日（土）	見送り（新千歳空港）

III 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第8回定時社員総会」

期日：2018年5月27日（日）9：45～14：10

会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

主な議題：2017年度事業報告及び決算報告、2018年度事業計画及び予算、
 規則・規程一部改正

代議員数：87名（開会時）出席：70名（内、委任11名含み）

（採決時）出席：70名（内、委任11名含み）

2. 理事会開催

1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2018年4月21日	18:30~20:50	16名	2名
	4月22日	9:30~16:40	16名	2名
2	5月26日	19:00~20:45	15名	2名
3	7月1日	9:30~16:15	15名	2名
4	8月26日	9:30~16:15	14名	2名
5	10月21日	9:30~16:40	12名	2名
6	12月16日	9:30~16:35	15名	2名
7	2019年2月23日	18:35~20:45	15名	2名
	2月24日	9:30~16:05	14名	2名

*理事会出欠表は別表P91に記載

3. 三役会議

期間：2018年4月～2019年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2018年4月11日(水)	4名	7	10月10日(水)	4名
2	5月9日(水)	4名	8	11月12日(月)	4名
3	6月13日(水)	4名	9	12月5日(水)	4名
4	7月11日(水)	4名	10	2019年1月9日(水)	4名
5	8月8日(水)	4名	11	2月27日(水)	4名
6	9月12日(水)	4名			

時間：19:00～21:00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2018年4月～2019年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2018年4月25日(水)	7名	7	10月24日(水)	8名
2	5月23日(水)	8名	8	11月28日(水)	8名
3	6月27日(水)	8名	9	1月23日(水)	8名
4	7月25日(水)	8名	10	2月6日(水)	8名
5	8月22日(水)	8名	11	3月27日(水)	7名
6	9月26日(水)	8名			

時間：19:00～21:00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷悌子コミュニケー

ジョン支援課長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長、
京野大樹事務局次長

内容：派遣事業、福祉サービス事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 職員会議・研修

①日時：5月12日（土）

テーマ：「協会とは～基本理念」・「各事業の業務趣旨と取り組み」

内容：渋谷雄幸理事長の講演映像を投影した後、各事業所の取り組みを紹介した。

②日時：12月15日（土）

テーマ：「障害者と行政及び地域との連携」

講師：野浪耕司氏（札幌市保健福祉局総務部総務課地域福祉推進係係長）

内容：北海道胆振東部地震をきっかけに、災害時の体制や避難について講演いただいた後、意見交換を行った。

6. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌サ連・札幌通研

期間：2018年4月～2019年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2018年4月17日	11名	7	11月20日	7名
2	5月15日	11名	8	12月18日	5名
3	6月19日	9名	9	2019年1月15日	8名
4	7月17日	9名	10	2月19日	9名
5	9月18日	9名	11	3月19日	9名
6	10月16日	6名			

札幌協：金原浩之副理事長・高嶋正博常務理事・福島太郎理事・若浜ひろ子理事・京野大樹理事

札幌サ連：菅原順子会長・三木千枝子副会長・堀井淑副会長・那須美枝子広報部長・木村裕美広報次長・吉田美穂会計部長

札幌通研：太田利実副運営委員長・渋谷梯子事務局次長・宮本ゆかり広報部次長・森川僚事業部次長・樋口あやこ会計部長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、札幌市手話講習会体制、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2018（平成30）年度定時総会

日時：5月16日（水）15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）
正会員団体代表の代理 常務理事 高嶋正博

② 2018（平成30）年度理事会（2回）

日時：①第1回2018年4月26日（木）15：00～

②第3回2019年3月19日（火）15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

※第2回理事会は書面決議

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2018年8月22日（水）18：00～

②2018年10月18日（木）10：00～

③2019年1月11日（金）17：00～

場所：札幌市役所

委員：構成人数 12名

（公社）札幌聴覚障害者協会 佐藤正昭理事

札幌市身体障害者福祉協会 1名

NPO法人手と手 1名

北海道でヘルプマークを広げよう

真っ赤なマークを知ってっ会 1名

NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名

札幌みんなの会 2名

NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名

カトリック円山教会 1名

他 2名

各位からの報告で「聴覚障害者支援センターほほえみ」について、説明をしました。

(1) 活動テーマの決定

メインテーマ「心のバリアフリーを広げよう」、サブテーマ「ヘルプマークを知ってもらおう」に決定しました。

サブテーマの候補が「災害に備えよう」「就労支援について考えよう」に決定しました。

(2) 「ヘルプマークを知ってもらおう」について意見交換

札幌市で行っている、ヘルプマークの周知に関する取組について、事務局から説明がありました。

9. 2018（平成30）年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会

(1) 実行委員会

日時：①2018年10月9日（火）14：00～

②2018年11月21日（水）14：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸

(2) 区長表敬訪問

日時・場所：①2018年12月5日（水）豊平区、中央区

②2018年12月6日（木）北区、東区

出席者：理事長 渋谷雄幸

10. 聴覚に障がいのある方にかかる消費生活相談懇談会

日時：2019年1月21日(月)17：30～19：00
 場所：札幌エルプラザ 会議室1・2
 出席者：金原浩之副理事長、高嶋正博常務理事、福島太郎理事、佐藤正昭理事、京野大樹理事、越智誠監事、コミュニケーション支援課渋谷梯子課長、森川僚職員
 出席団体：公益社団法人札幌消費者協会、消費生活相談室、札幌市市民文化局市民生活部消費生活課

11. 障がい者コミュニケーション促進委員会

- (1) 条例に基づく施策などについて障がい者等の意見を聞くことの目的の懇話会
- (2) 条例施行後の取り組みについての質疑・意見・要望
- (3) 今後は、2020年3月28日までに年に1回程度設けて条例の進捗状況などについて意見交換が行われる予定です。

経過の詳細は札幌市のホームページに掲載されています

<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/communication/index.html>

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会議開日程：

回	月日	出席人数
1	2019年3月28日	13名

委員：(公社)札幌聴覚障害者協会常務理事・事務局長 高嶋正博
 (公社)札幌市身体障害者福祉協会 事務局次長 岡崎勇二
 北海道自閉症協会 会長 上田マリ子
 (一社)札幌市中途失調・難聴者協会 副会長 花田裕芳(副会長)
 札幌手話通訳問題研究会 副運営委員長 太田利実
 (公社)札幌市視覚障害者福祉協会 菊地信
 (NPO)札幌市精神障害者家族連合会 専務理事 伊藤光治
 札幌盲ろう者福祉協会 会長 富樫眞弓
 (一社)札幌市手をつなぐ育成会地域活動部部长 高木麻裕美
 日本ASL協会北海道支部 運営委員 山田洋平
 札幌学院大学 人文学部 准教授 松川敏道(会長)
 点訳奉仕 むつの会 会長 菅原寛美
 要約筆記通訳者サークルふきのとう代表 鈴木浩子

12. その他

(1) 裁判等の傍聴

- ①優生保護法に関する裁判
 日時：9月28日(金)10：00～11：00
 場所：札幌地方裁判所
- ②優生保護法に関する裁判
 日時：12月21日(金)11：00～11：30
 場所：札幌地方裁判所
- ③優生保護法に関する裁判

日時：12月25日（火）10：00～11：00

場所：札幌地方裁判所

④優生保護法に関する裁判

日時：2019年3月15日（金）16：00～16：30

場所：札幌地方裁判所

(2) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：①8月27日（月） 9:30～11:00

②2019年2月20日（水） 9:30～11:00

場所：北海道札幌聾学校

出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会(総務部長) 渥美健治

北海道教育大学岩見沢校教授 阿部宏行

札幌聾学校同窓会長 杉本五郎

北海道札幌聾学校PTA会長 並木英子

学校職員：校長 熊谷英雄、教頭 門眞義弘・柴田和千代、

事務局長 中山聡

(3) 第59回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会

2019年度9月、札幌市で開催に行われる予定で、ろう者部会の議長の進行方法等の視察のため参加した。

主催：政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会

期間：2018(平成30)年9月7日

会場：パシフィコ横浜（横浜市中区）

内容：開会式・全体会議・分科会・スポーツ大会開会式

参加：政令指定都市の団体15協会

参加数138名、札幌市は9/6胆振東部地震のため8名欠席で130名

分科会：【ろう者部会】①提案審議・採択、②要望提案、③情報交換

出席者：高嶋正博常務理事

(4) 札幌市表敬訪問

①韓国テジョンろうあ者協会の表敬訪問

内容：姉妹都市の協会同士で協定締結したことの報告

日時：11月8日（木）16：00～16：30

出席者：韓国テジョンろうあ者協会（9名）

渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、
高嶋正博常務理事、京野大樹理事、

②バドミントン選手の表敬訪問

内容：第1回アジア太平洋デフユースバドミントン選手権大会で協会
会員がメダル獲得したことの報告

日時：12月12日（木）13：00～13：15

出席者：高橋来海選手、中西朋実氏（一般社団法人日本デフバドミント

ン協会理事)、渋谷雄幸理事長、京野大樹理事

(5) 慶弔事業

高齢部創立30周年記念式典

日程：11月3日（日）

出席：渋谷雄幸理事長

北海道ろうあ連盟団体

①伊達聴力障害者協会創立60周年記念式典・祝賀会

日程：5月13日（日）

出席：高嶋正博常務理事

②小樽ろうあ協会創立90周年記念式典・祝賀会

日程：5月20日（日）

出席：渋谷雄幸理事長

③旭川ろうあ協会創立70周年記念式典・祝賀会

日程：10月21日（日）

出席：金原浩之副理事長

④函館聴覚障がい者協会創立90周年記念式典・祝賀会

日程：10月28日（日）

出席：宮内博子副理事長

(6) 職業説明会

職員募集にあたり、各事業の説明、グループ面談

日程：8月25日（土）18：00～

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：30名

(7) ボランティア説明会

「聴覚障害者支援センターほほえみ」、「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター」各所のボランティア募集に関する説明、グループ面談

日程：11月21日（水）18：30～

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：28名

Ⅲ 人事（採用・異動・退職）報告

【2018年4月1日～2019年3月31日】

<p>①法人事務局</p> <p>きやうのだいき 京野大樹（2018年4月1日付身分変更 法人事務局次長→事務局次長）</p> <p>すぎやまきょうこ 杉山恭子（2018年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員）</p> <p>どいゆきこ 土居有希子（2018年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員）</p> <p>おのでらきよみ 小野寺紀代美（2018年7月31日付退職）</p> <p>くろだようこ 黒田陽子（2018年9月4日付採用 非常勤嘱託職員）</p> <p>くろだようこ 黒田陽子（2018年12月7日付退職）</p> <p>いとうひな 伊藤日菜（2018年10月15日付採用 非常勤嘱託職員）</p>
<p>②コミュニケーション支援課</p> <p>さとうゆうか 佐藤有香（2018年4月1日付身分変更 養成事業主査→養成事業係長）</p> <p>かじわらあけみ 梶原朱実（2018年4月1日付身分変更 正職員→常勤嘱託職員）</p> <p>かじわらあけみ 梶原朱実（2018年7月20日付退職）</p> <p>よしほらだいち 吉原大智（2019年3月31日付退職）</p> <p>たなかさちこ 田中幸子（2018年9月3日付採用 非常勤嘱託職員（専従手話通訳者））</p> <p>ふじいよしこ 藤井義子（2019年3月28日付採用 非常勤嘱託職員（専従手話通訳者））</p> <p>ろうやまみわこ 蠟山美和子（2018年4月2日付採用 非常勤嘱託職員（勤医協札幌病院専任手話通訳者））</p> <p>ささもりさおり 笹森佐緒里（2018年9月4日付採用 非常勤嘱託職員（勤医協札幌病院専任手話通訳者））</p>
<p>③聴覚障害者支援センターほほえみ</p> <p>いわさきつよし 岩崎 剛（2018年4月1日付身分変更 地域活動支援センター所長）</p> <p>ささもりせいじ 笹森誠二（2019年3月31日付退職）</p> <p>みかみひさこ 三神久子（2019年3月31日付退職）</p> <p>おおたこうじ 太田孝治（2018年12月5日付採用 非常勤嘱託職員）</p> <p>つばらえり 螺良絵里（2019年3月1日付採用 非常勤嘱託職員）</p> <p>おおつかまきこ 大塚真記子（2019年3月31日付退職）</p> <p>はたけやまかずこ 畠山和子（2018年6月25日付採用 非常勤嘱託職員）</p>
<p>④さっぽろ聴覚障害者介護支援センター</p> <p>ひぐち 樋口あやこ（2018年4月1日付身分変更 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター長）</p> <p>おさないたかこ 小山内孝子（2019年3月31日付退職）</p> <p>おうさかまさよ 逢坂昌代（2018年11月1日付身分変更 正職員→非常勤職員）</p> <p>おうさかまさよ 逢坂昌代（2018年11月30日付退職）</p> <p>すがいしゅん 菅井 駿（2019年3月10日付退職）</p> <p>さとうまさあき 佐藤正昭（2018年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→非常勤嘱託職員）</p> <p>すがわらふじえ 菅原藤枝（2018年4月1日付身分変更 臨時職員→非常勤嘱託職員）</p> <p>たにほみゆき 谷保美由紀（2018年4月1日付採用 非常勤嘱託職員（介護職員））</p> <p>くどうようこ 工藤蓉子（2019年3月1日付採用 非常勤嘱託職員）</p>

※職員等体制について

(95名(常勤役員・アルバイト・非常勤契約含む) 2019年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業) (13名)
事務局長1名、事務局次長1名、職員10名 計12名(定年再任用正職員1名、
正職員2名、常勤嘱託7名、非常勤嘱託2名)
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事
業含む)、養成事業係) (25名)
課長1名、係長2名、職員12名、アルバイト10名 計25名(正職員4名、常
勤嘱託3名、非常勤嘱託8名、アルバイト10名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (25名)
 - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ西・厚別)
所長1名、職員4名 計5名(常勤嘱託3名、非常勤嘱託2名)
 - ㊧ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)
共同生活援助事業(グループホームよつば)
所長1名、職員7名、アルバイト2名 計10名(正職員1名、常勤嘱託2名、非
常勤嘱託5名、アルバイト2名)
 - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほ
えみ、ほほえみ食堂))
センター長・店長(兼務) 1名、職員7名、アルバイト2名 計10名(正職員
1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託5名、アルバイト2名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター (32名)
 - ㊩ヘルパーステーションほほえみ白石
白石 職員2名、登録ヘルパー5名、計7名(常勤嘱託2名、登録5名)
 - ㊪小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員11名 計12名(正職員4名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託6
名)
 - ㊫サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長(兼務) 1名、職員1名、アルバイト10名 計12名(正職
員1名、非常勤嘱託1名、アルバイト10名)
 - ㊬ほほえみの郷
施設長1名 計1名(常勤役員1名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏名	1		2	3	4	5	6	7	
		4/ 21	4/ 22	5/ 26	7/ 1	8/ 26	10/ 21	12/ 16	2/ 23	2/ 24
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	金原 浩之	出	出	出	出	出	欠	出	欠	欠
副理事長	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
常務理事	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	出	出	出	出	出	※出	出	出
理事	中 和彦	出	出	欠	出	出	出	出	出	出
理事	河村 明子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	森 恵子	出	出	出	出	出	欠	出	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	※出	出	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	欠	※出	出	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	野口 和伸	出	出	出	出	※出	※出	※出	出	出
理事	美馬 伸隆	出	出	出	欠	欠	出	出	出	欠
理事	眞鍋 秀之	出	出	出	出	欠	欠	-	-	-
監事	越智 誠	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	福島 紫	出	出	出	出	出	出	出	出	出

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退

眞鍋秀之元理事より11月21日付けで辞任届が提出されたことにより、札幌法務局へ登記手続きをした。